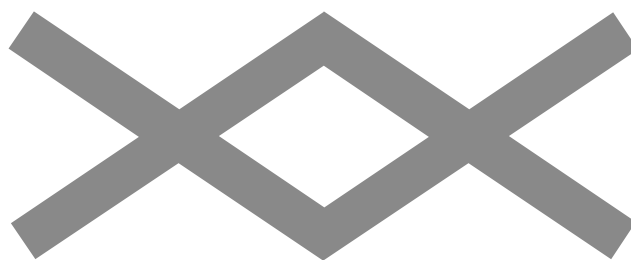


取扱説明書



nexxion®

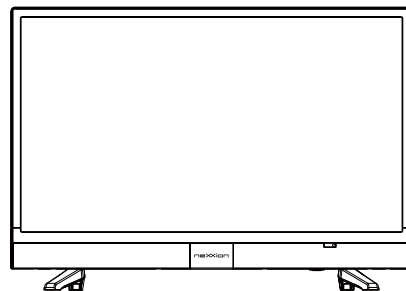
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は大切に保管しておいてください。弊社サポートセンターにお問い合わせの際には製品背面のラベルに記載されております製品型番とシリアル番号をお確かめください。

32V型 BS/110度CS/地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ

型番: FT-C3222B

目次

■ 主な製品特徴	3	録画機能について	39
■ 必ず最初にお読みください		視聴中の番組を録画する	40
安全上のご注意	4	番組表から録画予約する	40
ご使用上のご注意	7	録画する日時を指定して録画予約する	41
■ テレビを見る前に		録画設定を変更する	41
付属品のご確認・リモコンの準備	9	録画を中止する	42
スタンドの取付け・壁掛け	10	予約の確認・取消しをする	42
各部の名称(本体)	11	録画予約に関するお知らせ	42
各部の名称(リモコン)	12	録画した番組を保護する	43
■ テレビを見るための準備		録画した番組を削除する	43
アンテナの接続	13	録画した番組を再生する	44
miniB-CASカードを挿入する・電源を入れる	14	再生の基本操作	44
かんたん設置設定をする	15	録画中の番組を再生する	44
アンテナの方向調整	16	録画番組の情報や番組説明を見る	44
通信設定をする	17	録画番組の再生中にできるリモコン操作	45
IP アドレスの取得	17	録画一覧サブメニュー	45
DNS アドレスの設定	18	■ 各種メニュー画面	
プロキシの設定	18	サブメニュー画面について	46
ネットワーク状態を確認する	18	サブメニュー画面からの設定	46
■ テレビを見る	19	設定メニュー画面について	47
リモコンで番組を選ぶ	19	設定メニュー画面を開く	47
マルチ操作ボタンを使う	19	設定メニュー一覧	47
番組表を使う	20	映像設定メニューについて	48
視聴予約をする／番組を探す	21	映像設定メニュー画面を開く	48
視聴予約を設定する	21	画質動作選択	48
条件を指定して番組を探す	21	画質の調整	48
データ放送を見る	22	高度な映像調整	49
外部入力画面に切り換える	23	シネマ設定	49
接続した機器の映像を見る(入力切替)	23	画面の設定	49
テレビの映像を静止させる	23	調整の初期化	49
便利な機能を使う	24	音声設定メニューについて	50
画面サイズを変える	24	音声設定メニュー画面を開く	50
画面の位置や幅を調整する	24	音声調整	50
音声を切り換える	25	音質の調整	50
消音する	25	音量調整	51
チャンネル情報を見る	25	デジタル音声出力	51
字幕を表示する	26	音声同時出力	51
放送メール	26	調整の初期化	51
CS ボード	26	機器設定メニューについて	52
オンタイマーを使う	27	機器設定メニューをひらく	52
オフタイマーを使う	28	USB 機器管理	52
無操作電源オフ／無信号電源オフ	28	録画設定	52
文字を入力する	29	視聴制限設定	52
画面キーボードでの文字入力	29	視聴年齢の制限を設定する	53
リモコンでの文字入力	29	暗唱番号を設定・変更する	53
■ 外部機器を接続する		暗唱番号を削除する	53
外部AV機器を接続する	30	表示の設定	54
ヘッドホンで聞く	30	字幕の設定をする	54
外部機器の映像と音声を本機で再生する	30	文字スーパーの設定をする	54
AV 入力端子を使う場合	31	その他の表示の設定	54
HDMI 入力端子を使う場合	31	かんたん設定	55
HDMI の設定	32	設置設定	55
入力表示の設定	33	受信対象設定	55
HDMI スピーカー選択設定	33	チャンネル設定	55
オーディオ機器を接続する	34	地域設定	56
デジタル音声出力の設定	35	受信設定	56
パソコンを接続する	35	高速起動	56
録画用ハードディスク(市販品)を接続する	36	B-CAS テスト	56
USB ハードディスクの接続	36	システム設定	56
USB ハードディスクを登録する	37	設定情報リセット	56
USB ハードディスクの設定をする	38	放送メール	57
■ 番組を録画／再生する		B-CAS 情報	57
ハードディスクに録画する	39	CS ボード	57
		ライセンス情報	57
		ルート証明書	57
		その他の設定	57
		文字入力設定	57
		入力方式	57
		変換方式	57
		■ 故障かな?と思ったら	58
		■ 保証とアフターサービス	61
		■ 主な仕様	62
		プライバシーの取扱いについて	裏表紙裏



- **高精細なハイビジョン（1366×768画素）の表現領域によりリアルで鮮やかな映像を実現**
- **番組録画用外付ハードディスク対応**
別売の外付ハードディスク 4TB までのものが同時に 2 台まで接続可能（USB2.0）。
- **低反射スクリーンでフレームも細く、洗練されたスタイリッシュボディ**
- **オフタイマー / オンタイマー**
設定した時刻に電源を切ったり、設定した時刻とチャンネルで電源を入れることができます。
- **前面スピーカー採用**
- **ARC 機能（HDMI1 対応）**
HDMI ケーブル 1 本で ARC 対応オーディオ機器に音声を伝送することができ、光デジタルケーブルの接続が必要ありません。
※すべての動作を保証するものではありません。
- **CEC 機能**
テレビと Blu-ray レコーダーなどの機器間で相互操作ができます。
※すべての動作を保証するものではありません。

緊急警報放送（Emergency Warning System）について

緊急警報放送とは、地震や津波などの災害発生時に、特殊な信号を放送波に割り込ませることによってテレビやラジオなどの受信機から警報音を出し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。

人命や財産に重大な影響を与える以下の 3 つの条件に該当する場合には行われます。

- ①大規模地震など災害についての警戒宣言が発令された場合
- ②津波警報が発表された場合
- ③地方自治体の長より、避難命令など放送の要請があった場合

※地震や津波などの災害が発生した場合に行われる緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。

※緊急警報放送の受信による自動起動はいたしません。

必ず最初にお読みください

安全上のご注意

P4

必ず最初にお読みください

ご使用前にこの「安全上のご注意」を必ずよくお読みいただき、製品を安全に正しくご使用ください。

この取扱説明書および製品には、お客様や他の人々への危害または財産への損害を未然に防止し、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。

表示と図記号は次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

この絵表示は人が死亡または重症を負うおそれがある内容を表示しています。



注意

この絵表示は人がけがをしたり財産に損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。



この記号はやってはいけないことを表しています。



この記号はやらなければいけないことを表しています。



警告

異常や故障のおそれがあるとき



煙やにおい、音などの異常が発生したら、ただちに電源コードのプラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。お買い上げ店またはネクシオン サポートセンターまでご連絡ください。



内部に水や異物が入ったときは、ただちに電源コードのプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



電源コードや電源コードのプラグが損傷したり、発熱したりしたときは、ただちに電源コードのプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



キャビネットや液晶パネルを落としたり、ぶつけたりして破損したときは、ただちに電源コードのプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。本体を破損したまま取り扱っていると、けがのおそれがあります。お買い上げ店またはネクシオン サポートセンターまでご連絡ください。

設置するとき



ぐらつく台、傾いた台など不安定な場所に置かないでください。落下、転倒により、けがの原因となります。



風呂場やシャワー室、キッチンやサウナなど水気がある場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。












アンテナ工事は技術と経験が必要ですのでご自分では決して行わないでください。

安全上のご注意



警告

使用するとき

-  交流100V以外の電源で使わないでください。
交流100V以外の電源で使用すると火災、感電の原因となります。
-  異物を入れないでください。通風孔などからものを入れると、火災や感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。
-  電源コードの上に重いものや本機を乗せないでください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
-  電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱しないでください。
電源コードが損傷した場合は新しいものと交換してください。
-  電源コードを熱器具に近づけないでください。
ビニールの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。
-  電源コードのプラグを抜く際には、電源コードを引っ張らないでください。
電源コードが損傷し、火災、感電の原因となります。
-  テレビの裏蓋をはずしたり、改造や分解をしないでください。
テレビ内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因になります。
-  雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源コードに触れないでください。
感電の原因となります。
-  電源コードのプラグの付近にほこりや金属物が付着していると、火災、感電の原因となりますので、電源コードのプラグを抜き、乾いた布で取り除いてください。

注意

設置するとき

-  通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部の熱が逃げなくなり火災の原因となることがあります。
1.風通しのよくないところに入れたり、カーテンや布団、布などをかけたりしないでください。
2.周囲の家具や壁から10cm以上の間隔をあけて設置してください。
-  湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かないでください。
調理器具や加湿器などのそばに置くと火災、感電の原因となることがあります。

必ず最初にお読みください











安全上のご注意

P6

必ず最初にお読みください

注意

使用するとき

-  ぬれた手で電源コードのプラグを取り扱わないでください。
感電の原因となります。
-  タコ足配線をしないでください。
火災、感電の原因になることがあります。
-  電源コードのプラグはゆるみのあるコンセントに接続しないでください。
不完全な接続は発熱して火災の原因となります。
-  移動するときは、接続コード類をすべてはずしてください。
接続コード類をはずさずに移動させると、電源コードが傷つき、火災、感電、けがの原因となる場合があります。
-  お手入れするときや長時間使用しないときは電源コードのプラグを抜いてください。
火災、感電の原因になることがあります。
-  スタンドの下にものを置かないでください。
スタンドの下にものを置いた場合、転倒しやすくなり、液晶パネルが割れたり、故障の原因になる場合があります。
-  液晶画面をたたくなどの衝撃を与えないでください。
液晶パネルが割れて、火災、感電の原因になる場合があります。
-  リモコンには指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
破裂や液漏れにより、火災、感電の原因になる場合があります。
-  リモコンに電池を入れるときは極性(プラスマイナス)の向きに注意してください。
破裂したり液漏れにより、火災、感電の原因になる場合があります。
-  電源コードのプラグはコンセントに根元まで確実に接続してください。
接続が不完全ですと発熱やほこりが付着して火災、感電の原因になる場合があります。
また、電源コードのプラグに触れると感電する場合があります。

必ず最初にお読みください

ご使用上のご注意

知っておいていただきたいこと

本体が熱くなる場合があります

長時間使用すると、熱を逃がすために本体が熱くなる場合があります。ご注意ください。

国外では使用できません

この製品が使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

液晶パネルのドット欠けについて

液晶モニターは約90万～210万の画素により画面が表示されていますが、製造過程において画素にいくつかの欠けが出る場合があります。液晶パネル上に黒点(点灯しない点)または白点(点灯したままの点)などのドット欠けが見られる場合がありますが、これは液晶パネルの製造上、回避できない現象であり、欠陥品ではございません。

このようなドット欠けにつきましては返品や修理の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

電磁波妨害にご注意ください

製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生することがあります。

画面の焼き付きについて

静止画など長時間同じ画面を表示し続けたり、16:9の映像を画面比率4:3で長時間ご覧になったりすると、液晶パネルに焼き付きが生じることがありますのでご注意ください。視聴時にはフルスクリーンでのご視聴をお勧めします。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

ご使用になる部屋(場所)の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。

低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因になります。
(温度:0～40℃(結露なきこと)/湿度:20～80%(結露なきこと))

録画した番組について

録画用ハードディスクに保存した番組は、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。

録画用ハードディスクに保存した番組は、磁気や電波妨害によって消失する可能性があります。

録画用ハードディスクに保存した番組は、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。

録画した番組が、ハードディスクの取扱により消失したことによる損害(二次的損害を含む)については弊社では責任を負いかねます。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのやりかた

キャビネットにはプラスチックが多く使用されています。

ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質し、塗料がはげる場合がありますので使用しないでください。

殺虫剤など、揮発性のものを使用しないでください。また、ゴムやビニール製品などを長い時間接触させたままにしないでください。プラスチックに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げをしてください。

必ず最初にお読みください

ご使用上のご注意

P8

必ず最初にお読みください

守っていただきたいこと

電源・電圧について

指定の電源電圧以外では使わないでください。指定以外の電源電圧を使用した場合は故障の原因となります。

取り扱い上のご注意

液晶パネルを強く押さえないように、また、落としたり叩くなどの強い衝撃を与えないようにしてください。液晶パネルが割れ、けが、故障の原因となり危険です。振動の激しいところや不安定なところに置かないようお願いします。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

B-CASカードの抜き差しについて

デジタル放送は著作権保護のためB-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかり視聴することができません。B-CASカードは必要のない限り、抜かないでください。B-CASカードにはICチップが内蔵されていますので、折り曲げたり、衝撃を与えたり、端子部に触れたりしないようにしてください。B-CASカードは正しい向きでしっかりと挿入してください。

アンテナについて

妨害電波受信の影響を避けるため、交通の頻繁な道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万が一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

アンテナ線を不必要に長くのばしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になるおそれがあります。

アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧いただけます。特に煤煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが痛みやすくなります。

直射日光・熱気は避けてください

窓を閉め切った自動車の車内など異常に温度が高くなるところに放置をすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となるおそれがあります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

シールやテープなどを貼らないでください

キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長時間ご使用にならない場合

長時間ご使用にならないと機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて作動させてください。

別売の録画用ハードディスクの取り扱いについて

廃棄については各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。

USB端子部に、ゴミやほこりといった異物を付着させないでください。

落としたり、衝撃を与えないでください。

液体をかけないでください。

シールやテープを貼ると、USBコネクタに抜き差しできなくなったり、USBコネクタを破棄させる可能性がありますのでおやめください。

製品本体および添付品廃棄の場合

家電リサイクル法では、ご使用済みの液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められます。添付品の廃棄については、各自治体の条例または規則に従ってください。

B-CASカードは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。

お客様で破棄される際は必ずカード裏面の金色のICチップの部分にハサミを入れて切断して下さい。

テレビを見る前に

付属品のご確認・リモコンの準備



付属品をご確認ください。

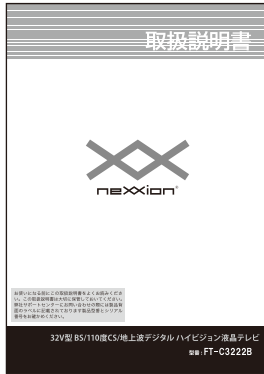
本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください

万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買い上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

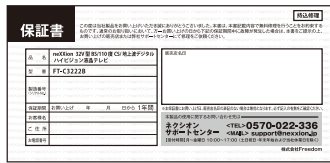
P9

テレビを見る前に

取扱説明書(本書)



保証書



mini B-CASカード



※台紙から外してご使用ください。
※カードのID番号は大切に保管してください。

スタンド(左右)



スタンド取付用ネジ(2コ)



リモコン(RM-3K4)



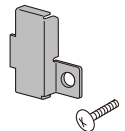
リモコン用乾電池2本
(単4形・動作確認用)



電源コード



mini B-CASカードカバー
(金具1/ネジ1)



リモコンの準備 / 電池の入れ方

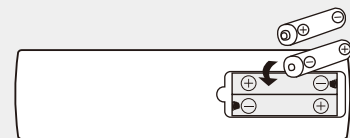
リモコンには単4電池2本が必要です。

1 リモコン背面の電池カバーを取り外してください。

持ち上げ式



2 電池の向きに注意して電池を入れ、カバーを元に戻します。



※乾電池は正しい電極の向きで入れてください。

※リモコンは本体受信部から8メートル以内左右30度以内でご使用ください。

※リモコンと本体のリモコン受光部の間に物を置かないでください。

※新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。乾電池の寿命が短くなったり、乾電池から液漏れして火災やけがの原因になる場合があります。

※長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずしてください。

※乾電池が液漏れした際には素手で触らないでください。

※付属の乾電池は動作確認用です。

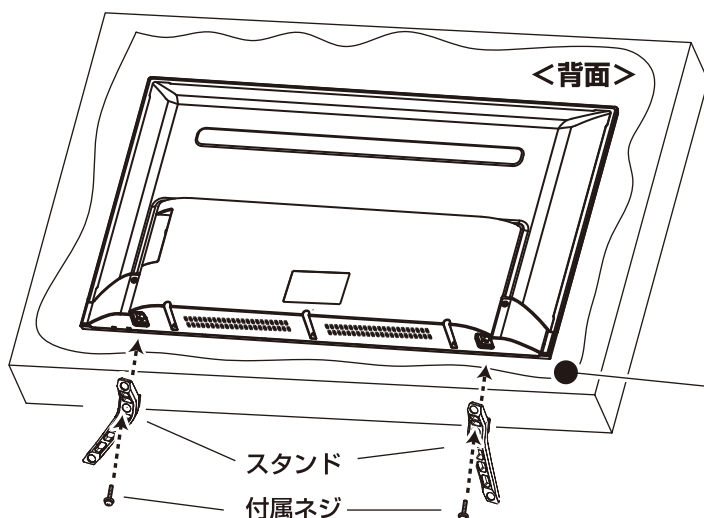
テレビを見る前に

スタンドの取付け・壁掛け

テレビの設置

■スタンドを取付ける

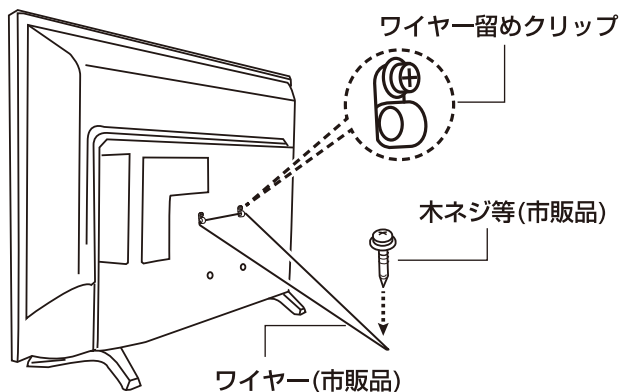
- 1 テーブルなどの台の上に毛布などの布を敷き（液晶画面保護のため）、その上に液晶画面を下向きにして本体を置きます。
- 2 スタンドを本体底部の固定する穴の位置に合わせ、付属のネジ2本で固定します。



※スタンドの前後左右を間違えて取り付けると、転倒する恐れがあります。

台の縁に本体の底を合わせてテレビを置いてください。

- 3 本体を固定します。



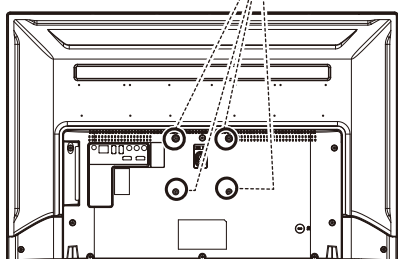
本体背面のワイヤー留めクリップにワイヤー（市販品）を通し、テレビ台や壁面などに木ネジ等で固定してください。

※転倒防止の処置をしないと、テレビが転倒し、怪我の原因となることがあります。

■壁掛けでご使用される場合

市販の壁掛け金具（別売）を使用して、壁に取り付けます。

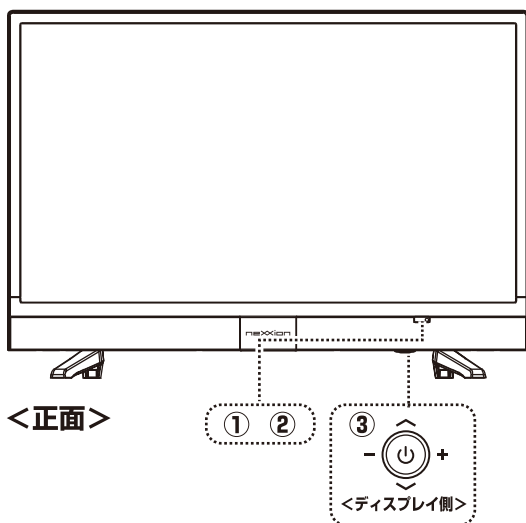
壁掛け金具取り付け用ネジ穴
<背面>



- ※壁掛けでご使用する際はスタンドを外してください。
- ※テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- ※壁掛け作業は専門の業者にご依頼ください。
- ※壁への取り付けが不適切だったりした場合、テレビが落下し大けがの原因となることがあります。
- ※VESA 規格に準じた金具をご購入ください。
- ※指定以外のネジを使用しないでください。

テレビを見る前に

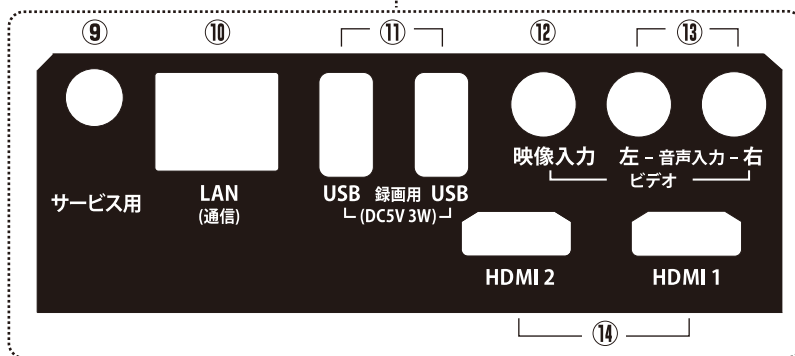
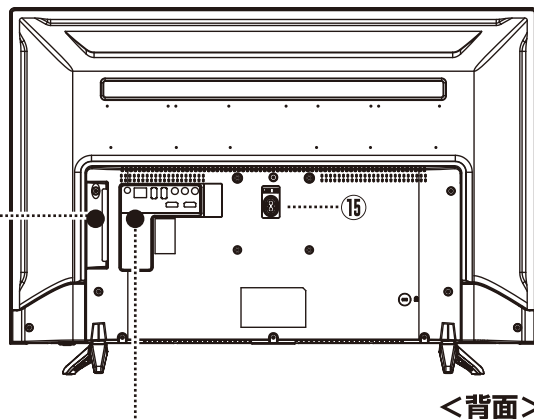
各部の名称(本体)



- ① **リモコン受光部** / リモコンの信号を受信します。
※リモコンは受信部に向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。
- ② **電源ランプ** / 電源がオンのときは緑色に点灯します。
電源がスタンバイ状態のときは赤色に点灯します。
- ③ **マルチ操作ボタン** / 前後左右および中心を押すことでいくつかの操作を行うことができます。
左：音量－
右：音量＋
前後：チャンネル
中心：スタンバイ状態で短く押すと電源オン
テレビ視聴中に長く押すとスタンバイ状態
メニュー設定非表示中に短く押すと入力切換
メニュー設定表示中に短く押すと項目を選択



- ④ **miniBS カード挿入口** /
※カードの向きにご注意ください。
- ⑤ **アンテナ入力端子 (BS・110度CS)** /
アンテナ線 (市販品) でBS・110度CSのアンテナ端子と接続します。
- ⑥ **アンテナ入力端子** / アンテナ線 (市販品) で壁などのアンテナ端子と接続します。
- ⑦ **ヘッドホン・音声出力端子** /
イヤホン/ヘッドホン (市販品) を接続します。
- ⑧ **デジタル音声出力端子** /
デジタル音声
光ケーブル (市販品) を接続します。



⑨ サービス用端子

※サービス用端子は一般のお客様にはご利用になれません。

⑩ LAN端子

LANケーブル (市販品) を接続しインターネットに接続し、データ放送の双方向サービス等を利用できます。
※インターネットを利用するには、通信事業者やプロバイダー (インターネット接続業者) との契約が必要です。
詳しくは通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。

⑪ USB 録画用端子

外付けハードディスク (市販品) を接続します。

⑫ ビデオ映像入力端子

AVケーブル (市販品) を接続します。

⑬ ビデオ音声入力端子

AVケーブル (市販品) を接続します。

⑭ HDMI1・HDMI2入力端子

HDMIケーブル (市販品) を接続します。

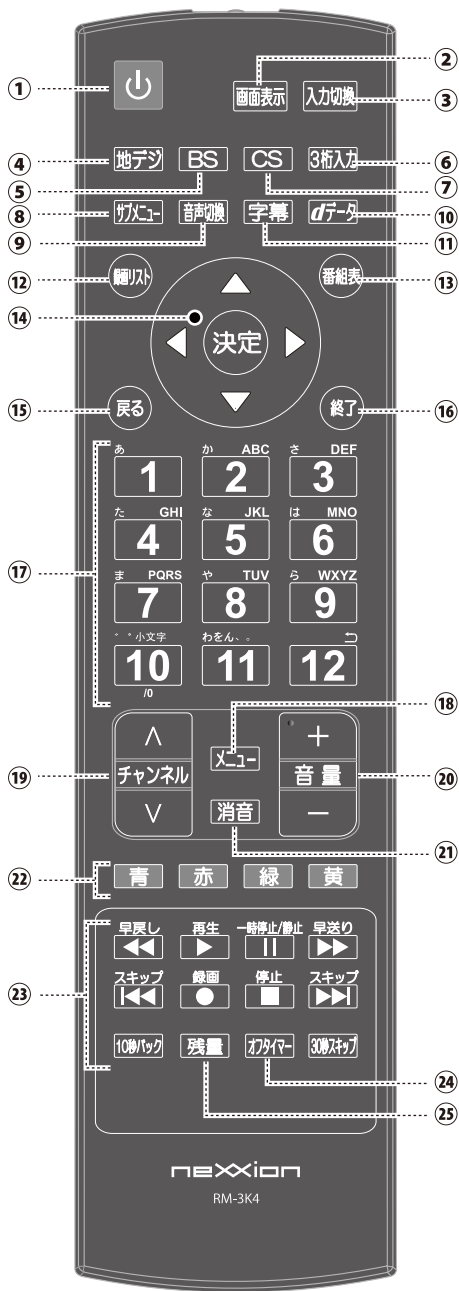
⑮ AC入力端子

電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

各部の名称(リモコン)

P12

テレビを見る前に



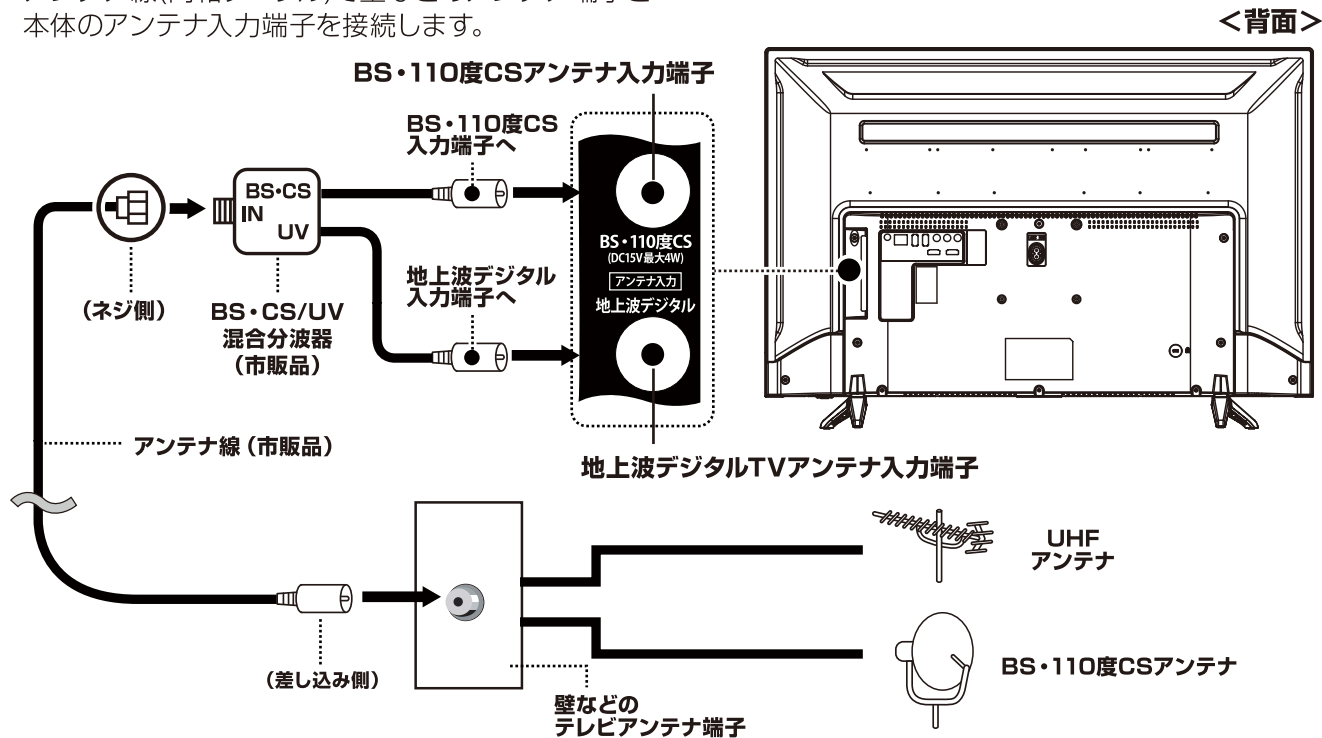
- ①電源ボタン／テレビの電源のオン／スタンバイに使用します
- ②画面表示ボタン／視聴中の番組の情報を表示します
- ③入力切換ボタン／ボタンを押すごとに入力を切り換えます
- ④地デジボタン／地上デジタル放送を受信します
- ⑤BS ボタン／BSデジタル放送を受信します
- ⑥3 桁入力ボタン／チャンネルの番号を入力して、選局します
- ⑦CS ボタン／110 度CS デジタル放送を受信します
- ⑧サブメニューボタン／サブメニュー画面を表示します
- ⑨音声切換ボタン／地上デジタル放送の2 カ国語放送や音声多重放送受信時に音声言語を切り換えます
- ⑩d データボタン／データ放送を表示します
- ⑪字幕ボタン／受信している放送が字幕放送の場合、字幕表示を切り換えます
- ⑫録画リスト／録画番組の一覧を表示します
- ⑬番組表／番組表をテレビ画面に表示します
- ⑭選択・決定ボタン／▶◀▲▼を使い、メニュー画面でカーソルを移動し、決定ボタンで選択内容を決定します
- ⑮戻るボタン／表示されているメニュー画面の、1 つ前の画面に戻ります
- ⑯終了ボタン／メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表を消したいときに押します
- ⑰数字ボタン／視聴するチャンネルを選びます。文字・記号などの入力にも使用します
- ⑱メニューボタン／メニュー画面を表示します
- ⑲チャンネルボタン／チャンネルを順に切り換えます
- ⑳音量ボタン／音量を調整します
- ㉑消音ボタン／音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します
- ㉒カラーボタン（青、赤、緑、黄）／データ放送を利用する時に使用します
また、設定メニュー画面、電子番組表等で、割り当てられている操作の実行や、さまざまな機能ボタンとして使用します
- ㉓録画／再生機能ボタン／USB ハードディスクを接続して番組を録画や再生するときを使用します
※録画／再生機能ボタンについてはP.39～P.45をご覧ください
- ㉔オフタイマー／オフタイマーの設定ができます
- ㉕残量ボタン／「USB 機器管理」の画面を表示します
ハードディスクの空き容量の確認などができます

アンテナの接続

アンテナ線のつなぎかた

■アンテナと本体をつなぐ

アンテナ線(同軸ケーブル)で壁などのアンテナ端子と本体のアンテナ入力端子を接続します。



- ※本製品に接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属しておりません。機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)、使用環境条件などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。
- ※BS・110度CS デジタル用アンテナの接続には、BS・CS デジタル対応のケーブル(S-4C-FB 相当)をご使用ください。
- ※110度CS デジタル放送を受信する際にブースターやBS・CS 分配器を使用する場合、110度CS デジタル放送(周波数2150MHz 以上)に対応した製品をお使いください。
- ※地上波デジタル放送のみ視聴される場合はアンテナ線で地上波デジタル端子とテレビアンテナ端子を繋げてください。
- ※地上波デジタル放送をご覧になるときは、地上波デジタル放送の信号が受信されていることをご確認ください。
- ※現在お使いのアンテナがUHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。
- ※BSアナログ放送用のBSアンテナではBSデジタル放送を受信できないことがあります。
- ※BSアンテナやスカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。
- ※BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からBS・110度CSアンテナに電源を供給することもできます。
- ※ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- ※アンテナ線はゆるまない程度に手で締めつけてください。工具などを使って締めつけ過ぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。
- ※上図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少、異なることがあります。
- ※アンテナを接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いてください。
- ※アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- ※一部のアンテナプラグの形状は、アンテナ端子への挿入が困難なものがあります。アンテナプラグをご確認ください。



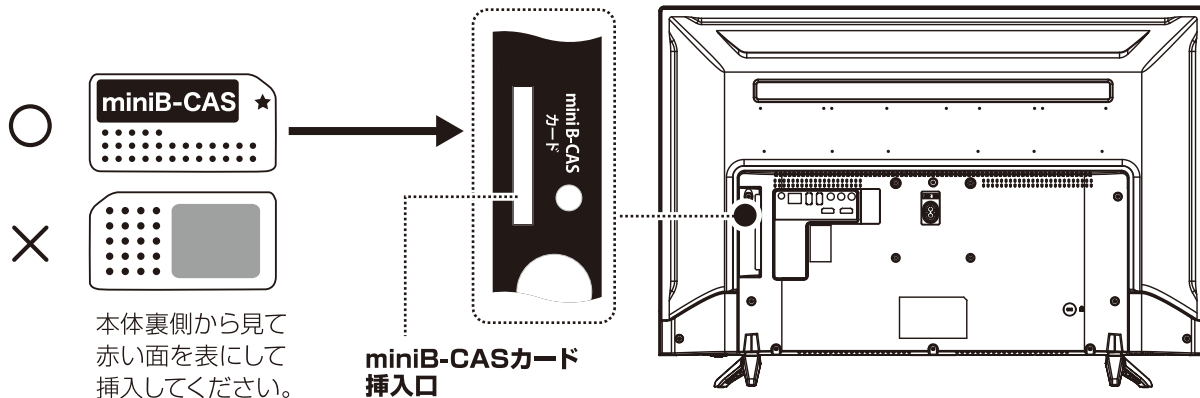
テレビを見るための準備

miniB-CASカードを挿入する・電源を入れる

miniB-CASカードを挿入する

デジタル放送を視聴するには、miniB-CASカードが必要です。

<背面>



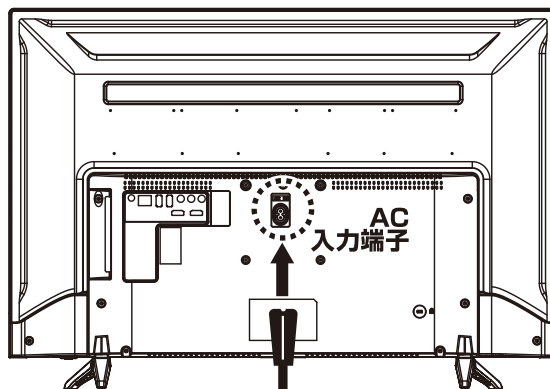
- ※B-CASカードを差し込むときはテレビの電源をスタンバイ状態にしてから差し込んでください。
- ※地上デジタル放送は著作権保護のためB-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかっていて視聴することができません。
- ※カード裏面の記述は実物と異なる場合があります。
- ※同封の「B-CASカード仕様承諾約款」の内容を読み了承された上で台紙からB-CASカードを取り外してください。
- ※B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容やB-CASカードに関する質問など不明な点がある場合はB-CASカスタマーセンター(TEL: 0570-000-250)へお問い合わせください。
- ※B-CASは(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略です。

地上デジタル放送が受信できないと思ったら…

- ① 地上デジタル放送の受信エリア内であること
 - ② 地上デジタル放送を受信できる適切なアンテナがあること
 - ③ B-CASカードが正しく挿入されていること
- をご確認ください。

電源を入れる

- 1 本体背面のAC入力端子に電源コードを差し込む
- 2 電源コードのプラグをコンセントに差し込む
※本体がスタンバイ状態になり、前面の電源ランプが赤く点灯します。
- 3 リモコンの電源ボタンまたは本体底面のマルチ操作ボタンを押す
※電源が入り、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。
※画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。



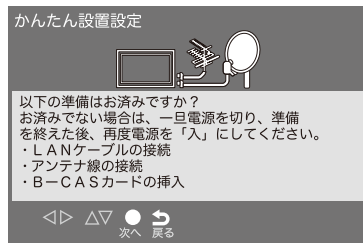
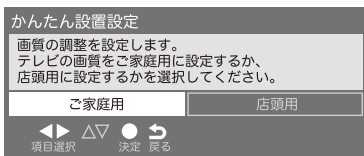
<背面>

テレビを見るための準備

かんたん設置設定をする

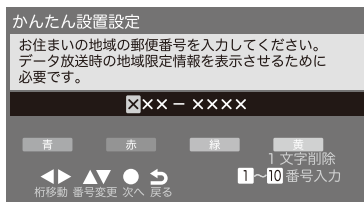
■miniB-CAS カードを挿入し、初めて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」で、お住まいの地域に適したチャンネルを設定します。

- 1 アンテナ線とminiB-CAS カードが正しく接続、挿入されているか確認します。
- 2 **決定** を押すと「かんたん設置設定」画面が表示されます。
- 3 **◀▶** で「ご家庭用」を選び、**決定** を押します。



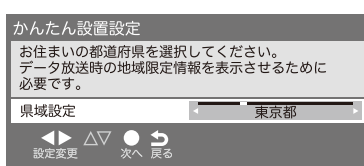
※「かんたん設置設定」画面

- 4 **▲▼◀▶** または **[1]~[10]** でお住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** を押します。

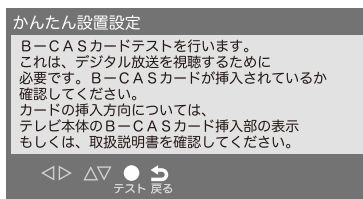


▲▼◀▶ または [1]~[10] でお住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** を押します。

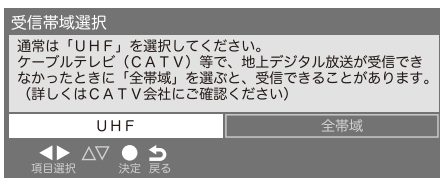
- 5 **◀▶** でお住まいの都道府県や地域を選び **決定** を押します。



決定 を押します。
B-CAS カードテスト画面が表示されます。



- 6 **◀▶** で受信帯域を選び、**決定** を押します(通常はUHF を選びます)。



地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。

地上デジタルチャンネル設定/アンテナレベル確認	リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	アッテネーター	オフ
1	011	NHK総合・東京	テレビ	72	高		
2	021	NHKEテレ東京	テレビ	56	高		
3	031	t v k	テレビ	62	高		
4	041	日本テレビ	テレビ	62	高		
5	051	テレビ朝日	テレビ	62	高		
6	061	TBS	テレビ	62	高		
7	071	テレビ東京	テレビ	66	高		
8	081	フジテレビジョン	テレビ	63	高		
9	----						
10	----						
11	----						
12	----						

※チャンネル設定内容確認画面

- 7 **決定** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
衛星アンテナへの電源供給方法を選び、**決定** を押します。
番組データを受信します。
「かんたん設置設定はこれで終わりです」と表示されたら **決定** を押します。

※ **戻る** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

※自動設定された内容を変更したい場合は、「設置設定」で設定し直すことができます。(P.55)

※miniB-CASカードが正しく挿入されていないと「かんたん設置設定」ができません。あらかじめご確認ください。
※ケーブルテレビで放送を受信する場合の設定は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
※『かんたん設置設定』をしてもデジタル放送が正しく受信できない際は、P.16『アンテナの方向調整』ご参照ください。
※画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

テレビを見るための準備

アンテナの方向調整

■「かんたん設定」をしてもテレビが映らない、または画像レベルが乱れるなど場合には、お買い上げの販売店にご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

1 [X] を押し ▲ ▼ で「機器設定」を選び (決定) を押します。

2 ▲ ▼ で「設置設定」を選び (決定) を押します。

3 ▲ ▼ で「受信設定」を選び (決定) を押します。



※受信設定画面

4 ▲ ▼ で「地上」を選び (決定) を押します。



※受信レベルが表示されます。

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整します。



※アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。

6 アンテナを固定して、(決定) を押します。

上記は地上デジタル放送のアンテナの調整例です。

衛星放送の受信レベルは手順4で「衛星」を選び、同様に確認します。

※視聴中から「アンテナレベル」を選んで受信レベルを確認することもできます。

通信設定をする

■本機背面のLAN 端子にネットワークケーブルをつなぐと、双方向通信のデータ放送や独立データ放送などをお楽しみいただけます。
ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合、それをもとに「通信設定」をします。

1 **メニュー** を押し ▲▼ で「通信設定」を選び、**決定** を押します。
「通信設定」画面が表示されます。



2 ▲▼ で「ネットワーク接続」を選んで **決定** を押します。

3 以下の手順に従って設定します。

本機の名称 / IPアドレス / DNS設定	
本機の名称変更	Japan TV
IPアドレス	自動取得
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
DNSアドレス	自動取得
DNS	
プロキシ設定	

本機の名称変更：ネットワーク上で表示する本機の名称を変更したいときに設定します。

IPアドレス：インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。

DNSアドレス：ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。DNS アドレスを手動で設定してください。

プロキシ設定：インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

※ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

※ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。

※リモコンを使った文字入力は P.29 の『文字を入力する』をご参照ください。

IPアドレスの取得

1 ▲▼ で「IP アドレス」を選んで **決定** を押します。

2 IP アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選びます。

IP アドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合

① ▲▼ で「手動設定」を選びます。

② ▲▼ で「IP アドレス」を選び、**[1]** ~ **[10]** で入力します。

③ ▲▼ で「サブネットマスク」を選び、**[1]** ~ **[10]** で入力します。

④ ▲▼ で「ゲートウェイ」を選び、**[1]** ~ **[10]** で入力します。

※ ②~④では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。

▲▼ ▶ で選び、**[1]** ~ **[10]** で番号入力し、◀ で訂正、**決定** を押して設定完了です。

3 **決定** を押します。

通信設定をする

DNS アドレスの設定

- ▲▼で「DNS アドレス」を選んで (決定) を押します。
- DNS アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選びます。
DNS アドレスが自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合
 - ▲▼で「手動設定」を選びます。
 - ▲▼で「DNS」を選び、 ~ で入力します。
※②では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
※欄を移動するには、◀▶ を押します。
- (決定) を押します。

プロキシの設定

- ▲▼で「プロキシ設定」を選んで (決定) を押します。
- ▲▼で「アドレス」を選んで (決定) を押します。
- HTTP プロキシアドレスを入力し、(決定) を押します。
※入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。
- ▲▼で「ポート番号」を選び ~ でポート番号を入力します。
- (決定) を押します。

ネットワーク状態を確認する

インターネットに正しく接続しているかどうかテストします。

「通信設定」画面で「ネットワーク状態」を選んで (決定) を押します。
接続テスト結果が表示されます。

正しく接続されなかったときは…

再接続確認を行ってください。再接続確認を行っても接続できないときは、「ネットワーク接続」からやり直してください。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

- 1 リモコンの **電源** または本体底面のマルチ操作ボタンを押します。
前面の電源ランプが緑色に点灯し、しばらくすると前回見ていたチャンネルが表示されます。
- 2 **地デジ**、**BS**、**CS** で地上デジタル放送、BS 放送または CS 放送を選びます。
- 3 数字ボタン (**1** ~ **12**)、チャンネル **▲** **▼** ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選びます。
チャンネル番号を入力するときは **3桁入力** を押し、3桁のチャンネル番号を入力します。
※ **3桁入力** を押して「3桁入力選局」を選んででも3桁入力画面が表示されます。
※ **3桁入力** を押し **▲** **▼** を使っても「3桁入力選局」を選ぶことができます。

マルチ操作ボタンを使う

本体底面のマルチ操作ボタンの機能を使ってもいくつか操作を行うことができます。

右 (ディスプレイ側から見て) : 音量+
左 (ディスプレイ側から見て) : 音量-
前後 (ディスプレイ側から見て) **▲** / **▼** : チャンネル
中心 (**電源**) :

- ① 待機状態で短く押すと電源が入ります。
- ② テレビ視聴中に長く押すと待機状態になります。
- ③ メニュー設定表示をしていないときに短く押すと入力を切替えます。
- ④ メニュー設定表示をしているときに短く押すと項目を選択します。



※画面切換時の注意

入力を切り換える際、各種入力信号に合わせて本製品内部で画面調整を行うため、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。

番組表を使う

■デジタル放送では、放送局別の番組一覧を見ることができます。
現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

- 1 放送視聴中に **番組表** を押します。
視聴中の放送の番組表が表示されます。放送の種類を変更するには **地デジ**、**BS**、**CS** のいずれかを押します。
番組を選んで **決定** を押すと、番組の詳細情報を表示します。

P20 テレビを見る

地デジ / BS / CS ボタンで番組表を切り替え

表示している番組表の日にち

現在日時

7チャンネル分の番組表を表示

6時間分の番組表を表示

サブメニュー で番組表サブメニューを表示

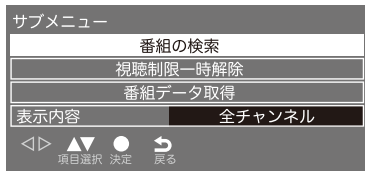
緑 / 黄 ボタンで前日 / 翌日に移動

選択中の番組情報

- 2 **戻る**、**番組表** または **終了** を押すと元の画面に戻ります。

番組表サブメニュー

番組表表示中に **サブメニュー** を押すと、番組表サブメニューが表示され項目を選択できます。



- 番組の検索
- 視聴制限一時解除
- 番組データ取得
- 表示内容

※「表示内容」で「設定チャンネル」を選ぶと、選局したチャンネルだけの番組表を表示します。
あらかじめ「メニュー」⇒「機器設定」⇒「その他の設定」⇒「選局対象」で設定チャンネルを選択しておきます。

視聴予約をする／番組を探す

■視聴を予約／予約解除します

視聴予約を設定する

- 1 放送視聴中に **番組表** を押し、番組表を表示させます。
- 2 **▲▼◀▶** で予約したい番組を選び **決定** を押します。
- 3 番組説明を確認して「視聴予約」を選び、**決定** を押します。

録画予約 視聴予約 ※予約選択画面

「予約が完了しました」のメッセージが表示され、番組表の予約した番組のボックスに **予** マークが付きます。

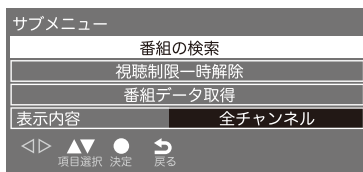
※視聴予約を設定後、電源プラグをコンセントから抜くと予約が取り消される場合があります。

視聴予約を取り消す

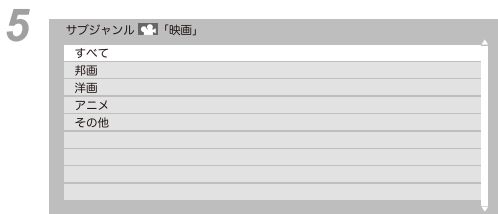
- 1 番組表から予約した番組を選び、**決定** を押します。
- 2 番組説明を確認して「設定変更」「予約削除」から **◀▶** で「予約削除」を選び **決定** を押します。
番組表の予約した番組のボックスの **予** マークが消えます。

条件を指定して番組を探す

- 1 放送視聴中に **番組表** を押します。
- 2 **お気に入り** を押します。
- 3 **▲▼** で「番組の検索」を選び、**決定** を押します。



- 4 「ジャンル検索」を選び、**決定** を押します。



- ① **▲▼** で「メインジャンル」を選び、**決定** を押します。
- ② **▲▼** で「サブジャンル」を選び、**決定** を押します。

- 6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を **▲▼** で選び、**決定** を押します。

- 7 **◀▶** で「録画予約／視聴予約」を選び、**決定** を押します。

データ放送を見る

データ放送について

- BS デジタル放送や地上デジタル放送では映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

データ放送を楽しむ

- 1 **データ** を押します。放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。
※放送画面の操作説明などで、**データ** ボタンは「d ボタン」、「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。
- 2 ▲▼◀▶ で移動し、**決定** を押すと指定した情報が表示されます。
- 3 **データ**、もしくは **終了** を押すと、通常の画面に戻ります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。
※本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。
- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と本機の設定が必要です。また、双方向サービスのご利用には登録のお申し込みなどが必要な場合があります。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。
- データ放送は録画できません。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

外部入力の画面に切替える

■本機の外部入力端子に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤーやハードディスクレコーダーなどの再生やゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。

接続した機器の映像を見る（入力切替）

- 1 **入力切替** を押すと「入力切替」画面が表示されます。
- 2 **入力切替** を繰り返し押し続けて入力モードを選びます。



※テレビ視聴中でメニュー設定表示がないときに本体底面のマルチ操作ボタンを短く押すと入力切替ができます。
※音量は本機のリモコンで調節します。その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。
※「入力切替」画面で使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたい場合は、P.33の「入力表示の設定」をご覧ください

※画面切替時の注意
入力を切替える際、各種入力信号に合わせて本製品内部で画面調整を行うため、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。

テレビの映像を静止させる

静止/解除 を押すと映像が静止されます。**静止/解除** をもう一度押すと解除されます。
静止中は画面右上に **静止** が表示されます。
※映像が静止中でも音声は流れ続けます。

※データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
※選局操作をすると静止画が解除されます。
※テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
※映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除される場合があります。

便利な機能を使う

■視聴している映像に応じて、画面サイズを選ぶことができます。

画面サイズを変える

- 1 **[メニュー]** を押し▲▼で「映像設定」を選び、**(決定)** を押します。
- 2 ▲▼で「画面の設定」を選び、**(決定)** を押します。
- 3 ▲▼で「画面サイズ切替」を選び、**(決定)** を押します。

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4 : 3 映像設定	ジャスト

映像設定	
MPEG ノイズ低減	強
高度な設定	切
詳細調整	
シネマ設定	
画面の設定	
調整の初期化	

- 4 「自動」「フル」「ジャスト」「ノーマル」「ズーム」を選び、**(決定)** を押します。

自動
フル
ジャスト
ノーマル
ズーム
サイドカットフル
サイドカットジャスト
サイドカットズーム

- … 自動的に画面サイズを検知して最適なサイズで表示します。
 - … 16 : 9 の映像をそのままのアスペクト比で表します。
 - … 4:3 映像を画面サイズに合わせて拡大します。
 - … 4:3 映像をオリジナルのまま表示します。
 - … 上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。
 - … サイドカットした映像をフルで表示します。
 - … サイドカットした映像の左右の拡大率を多くして、違和感のない映像に拡大します。
 - … サイドカットした映像を画面いっぱいに拡大します。
- ※お買い上げ時は「自動」に設定されています。

■視聴している映像に応じて、画面サイズを選ぶことができます。

画面の位置や幅を調整する

- 1 **[メニュー]** を押し▲▼で「映像設定」を選び、**(決定)** を押します。
- 2 ▲▼で「画面の設定」を選び、**(決定)** を押します。
- 3 ▲▼で「垂直位置/大きさ」を選び、**(決定)** を押します。
- 4 ▲▼で垂直位置を、◀▶で画面サイズを調整し、**(決定)** を押します。

垂直位置/大きさ	
◀▶	●
サイズ	垂直位置 戻す 戻る

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4 : 3 映像設定	ジャスト

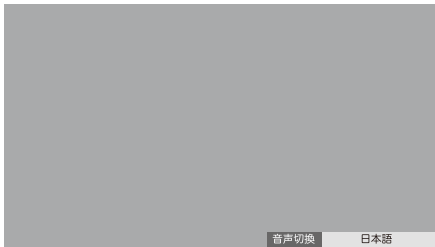
※画面サイズによっては、垂直位置や大きさの調整はできません。

便利な機能を使う

音声を切り換える

■音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主／副を切り換えることができます。

音声切 を押すたびに別の音声の切り換わります。



サブメニュー（信号切換画面）を使っても音声を切り換えることができます。

- 1 **切** を押します。
- 2 ▲▼ で「信号切換」を選び **決定** を押します。

「信号切換」画面が表示されます。

信号切換	
マルチビュー	主番組
映像	映像 1
音声	日本語
二重音声	主
データ	ニュース・天気・
字幕	オン
字幕言語	日本語

「信号切換」画面上で

音声：日本語／英語を選び **決定** を押します。

二重音声：主／副などをを選び **決定** を押します。

※受信している放送によって音声切換表示は異なります。

消音する

消音 を押すと画面左下に **消音** が表示され消音されます。

元に戻すには、もう一度 **消音** を押します。また、音量＋／－ボタンを押しても音声が出ます。

チャンネル情報を見る

■現在視聴中の各種情報を表示できます。

画面表示 を押すと、現在受信中のチャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



録画しているチャンネルの画面では「録画中」の表示が出ます。

しばらくすると、画面上部の番組名は消えて、チャンネルの表示だけになります。

表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押します。

便利な機能を使う

■字幕放送番組で字幕をオンにすると、画面に字幕が表示されます。

字幕を表示する

[字幕] を押すたびにオン/オフを切り換えることができます。

- ※お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。
- ※字幕放送番組は、番組表の番組説明に [字] のアイコンが表示されています。
- ※字幕の設定について、詳しくは P.54 をご覧ください。

■デジタル放送局からのお知らせと、予約などについて本機が発行したお知らせを受け取ることができます。

放送メール

- 1 [メニュー] を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、(決定) を押します。
- 2 ▲▼ で「システム設定」を選び、(決定) を押します。
- 3 ▲▼ で「放送メール」を選び、(決定) を押します。



- 4 ▲▼ で「放送メール」の種類を選び、(決定) を押します。
※放送局からのお知らせ デジタル放送局からのお知らせです。
※本機に関するお知らせ 予約などについて本機が発行したお知らせです。
- 5 ▲▼ で読みたい放送メールを選び、(決定) を押します。

- ※「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7 通まで記憶され、BS デジタルと110 度CS デジタルは、合わせて24 通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります) 記憶できる数を超過して受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- ※「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。

CS ボード

110 度 CS デジタル放送からの視聴者に向けたお知らせです。各 50 通まで表示されます。

便利な機能を使う

■本機の電源を入れる時刻を設定できます。

オンタイマーを使う

1 **[メニュー]** を押し **▲▼** で「タイマー設定」を選び、**[決定]** を押します。

2 **▲▼** で「オンタイマー」を選び、**[決定]** を押します。

タイマー設定	
日時指定予約	
オンタイマー	
無操作電源オフ	切
無信号電源オフ	入

3 **▲▼** で設定する項目を選び、**[決定]** を押します。

オンタイマー	
オンタイマー	切
時刻	11:50
音量	20
放送/入力	地上D
チャンネル	011
チャンネル名	NHK総合1・東京
設定を変更する場合は「切」にしてください。	

※設定を変更する場合はオンタイマーを『切』にしてください。

時刻

◀▶ で移動し数字ボタンで時刻を入力します。

音量：オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

◀▶ で好みの音量を選びます。

放送/入力

▲▼ で「設定しない / 地上D / BS / CS / HDMI 1 / HDMI 2 / ビデオ」から選びます。

チャンネル：オンタイマーで電源が「入」になったときに、視聴するチャンネルを設定します。

▲▼ でチャンネルを選びます。

チャンネル：指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

チャンネル名：設定したチャンネルの放送局名が表示されます。

4 **▲▼** でオンタイマーを選び「入」に設定します。

5 **[終了]** を押してから本機の電源を切ります（スタンバイ状態にします）。

※オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や、時刻情報を取得していない場合には使用できません。

便利な機能を使う

■オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、スタンバイ状態になります。

オフタイマーを使う

1 **[設定]** を押し ▲▼ で「オフタイマー」を選び、**[決定]** を押します。

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切換	
データ放送表示切	

2 ▲▼ で「90分」「60分」「30分」「オフ」から選び **[決定]** を押します。

90分
60分
30分
オフ

リモコンの **[設定]** を押ししてもオフタイマー画面を表示できます。

※電源が切れる3分前になると、画面にメッセージが表示されます。

無操作電源オフ／無信号電源オフ

1 **[メニュー]** を押し ▲▼ で「タイマー設定」を選び、**[決定]** を押します。

2 ▲▼ で「無操作電源オフ」または「無信号電源オフ」を選び **[決定]** または **[右]** を押します。

3 **[左]** で「入/切」を選び **[決定]** を押します。

無操作電源オフ: しばらくの間無操作状態が続くと自動で電源が切れて、スタンバイ状態になります。

無信号電源オフ: しばらくの間信号を受信しない状態が続くと自動で電源が切れて、スタンバイ状態になります。

文字を入力する

■ハードディスクの表示名を変更する場合などに、文字入力画面が表示されます。

入力方法：リモコンのボタンで入力するか画面に表示されるキーボードで入力するかを選びます。

変換方式：通常方式か予測方式かを選びます。

基本操作 **青**：漢字変換（画面キーボードのみ）

赤：確定／終了

緑：文字切換

- かな ひらがなや漢字を入力
- カナ カタカナを入力
- 英数 英字や数字を入力
- 数字 数字を入力

黄：文字クリア

画面キーボードでの文字入力

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青 漢字変換
空白	」	よ	う	ん	り	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 終了
キーボード移動	！	っ	え	、	れ	”	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切換
入力位置移動	？	わ	お	。	ろ	”	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

画面に表示される文字入力キーボードで▲▼◀▶で文字を選び **決定** を押します。

リモコンでの文字入力

1 下の表のようにリモコンの **1** ~ **12** で文字を入力します。

入力例：かっぱ

2	4 × 6 回	6 10 × 2 回
か	っ	は °

- 文字に続けて [10] を押すと、濁点「゛」や半濁点「゜」の入力ができます。
- 同じボタンで文字を続けて入力するときは、次の文字の入力前に ▶ を押します。
- 途中で文字を挿入するときは、挿入する箇所から入力します。
- 入力した文字を削除するときは、**黄**（文字クリア）を押します。

2 文字を確定します。

- 漢字に変換しない場合は、**決定** を押します。
- 漢字変換する場合は ▼ を繰り返し押し、変換されたら **決定** を押します。
- 漢字が見つからない場合は、◀▶で再度変換します。

3 入力が完了したら **決定** を押します。

リモコン入力文字一覧

最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

※ 1 文字入力変換で通り過ぎた場合に、逆方向へ戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえおあいうえお 1	アイウエオアイウエオ 1	@./:~_#\$%*+=^1	1
2	かきくけこ 2	カキクケコカキクケコ 2	abcABC2	2
3	さしすせそ 3	サシスセソ 3	defDEF3	3
4	たちつとっ 4	タチツテトッ 4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	jkIJKL5	5
6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	mnoMNO6	6
7	まみむめも 7	マミムメモ 7	pqrPQRS7	7
8	やゆよやゆよ 8	ヤユヨヤユヨ 8	tuvTUV8	8
9	らりるれる 9	ラリルレロ 9	wsyzWXYZ9	9
10	゛ ° ｡ ？ ! ・ () 0	゛ ° ｡ ？ ! ・ () 0	-;:!"&# ()<>[]{}0	0
11	わをんわー	ワヲンワー	_(スペース)	*
12	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	#

外部機器を接続する

外部AV機器を接続する

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホン端子に接続します。

※ヘッドホン端子の位置は P.11 をご覧ください。

※ヘッドホンを接続したときは、「音声同時出力」で本機のスピーカーからも同時に音を出す／出さないの設定ができます。同時に出す設定にしたときは、ヘッドホンの音量は「音量調整」で調整します。詳しくは P.51 をご覧ください。

外部機器の映像と音声を本機で再生する

DVD プレーヤー、BD プレーヤー、オーディオ機器やビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。

高精細、高画質に対応した出力端子 (HDMI) に接続するとより画質の高い映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な接続方法をお選びください。

※各種入力端子の位置は P.11 をご覧ください。

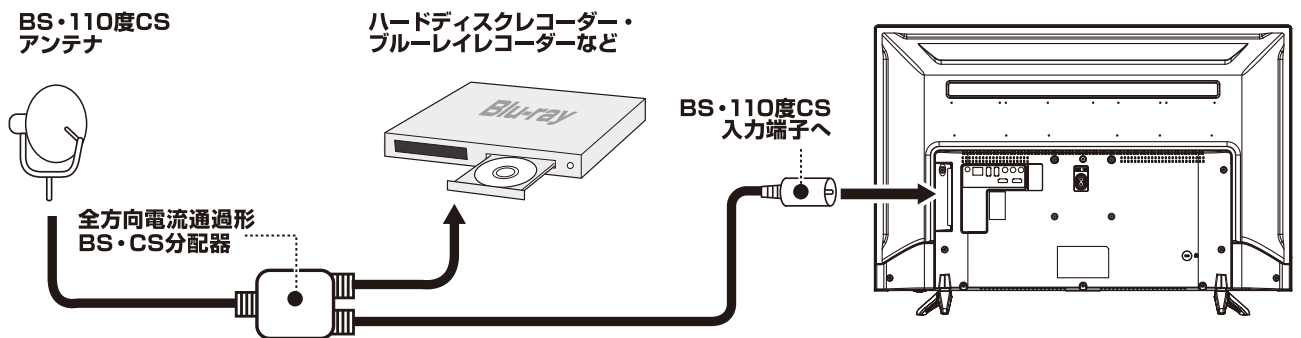
※接続する機器の取扱説明書をご確認のうえ接続してください。

※必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから接続してください。

※プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

※本機には接続に使用するケーブル類は付属していません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認のうえ、お客様にてご用意ください。

BS・110度CSデジタル用アンテナ1台で本機などBSや110度CS機器を2台以上つなぐ場合



※全方向電流通過形の BS・CS 分配器をお使いください。

※BS や 110 度 CS 機器をつなぐときは、BS や 110 度 CS 機器付属の取扱説明書をご覧ください。

※将来、110 度 CS デジタル放送でチャンネルが増えた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

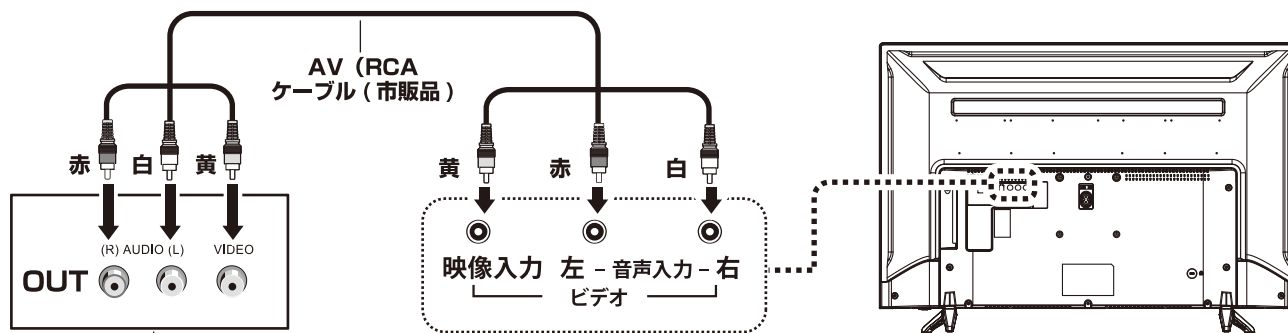
外部機器を接続する

外部AV機器を接続する

■ゲーム機、ビデオカメラなど AV 出力端子を持つ外部機器は、AV (RCA) ケーブルで本機の AV 入力端子に接続します。

AV 入力端子を使う場合

※ビデオ入力端子の位置は P.11 をご覧ください。



ゲーム機、ビデオカメラ等、
接続する外部機器の出力端子

図のようにビデオ映像・音声ケーブル (市販品) を黄・白・赤の各端子の色に合わせて外部機器(出力端子)と本体に接続してください。

※映像端子と音声端子を逆に接続すると、音声も映像も出力できません。

それぞれの端子が正しく接続されているか必ずご確認ください。

※接続する機器の音声出力端子がひとつしかない場合は、白の端子だけを接続してください。

この場合、音声は片方のスピーカーからのみ出力されます。

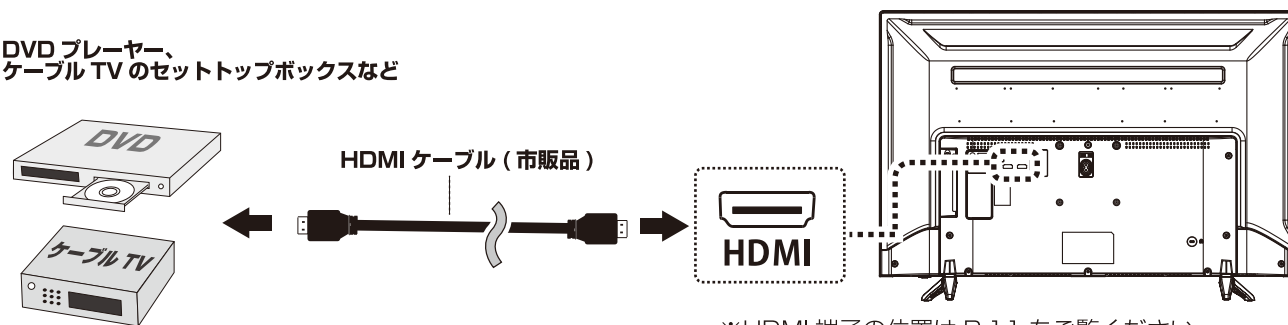
※図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。

※接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。

■HDMI 端子のある DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを接続できます。
■HDMI ケーブルを接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

HDMI 入力端子を使う場合

DVD プレーヤー、
ケーブル TV のセットトップボックスなど



※HDMI 端子の位置は P.11 をご覧ください。

※HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。

※本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 1 入力端子 (ARC 対応) をお使いください。

その際には ARC 対応 HDMI ケーブルをお使いください。

※外部機器を接続、取り外しをする際は本機および外部機器ともに、電源を切った状態で行ってください。

外部機器を接続する

外部AV機器を接続する

HDMI の設定

1 **[X-]** を押し **▲▼** で「機器設定」を選び **(決定)** を押します。

2 **▲▼** で「HDMI 設定」を選び **(決定)** を押します。

機器設定	
USB 機器管理	
録画設定	
視聴制限設定	
表示の設定	
HDMI 設定	
かんたん設定	
設置設定	
システム設定	
その他の設定	

3 **▲▼** で設定する項目を選んで **(決定)** を押し左の表の各項目で設定します。

HDMI 設定	
HDMI 連動	オン
電源入連動	オフ
電源切連動	オン
自動切	オフ
レコーダ操作	通常

4 **(戻る)** を押し下記の各項目で設定します。

HDMI 連動：HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。

- **▲▼** で「オン」または「オフ」を選び **(決定)** を押します。

電源入連動：連動機器の電源を入れたときに、本機に自動的に電源が入ります。

- **▲▼** で「連動する」または「連動しない」を選び **(決定)** を押します。

電源切連動：本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が自動的にオフになります。

- **▲▼** で「連動する」または「連動しない」を選び **(決定)** を押します。

自動切：HDMI での操作が終わると連動機器の電源だけが自動的にオフになります。

- **▲▼** で「オン」または「オフ」を選び **(決定)** を押します。

レコーダ操作：HDMI レコーダーを操作するとき設定します。

「拡大」を選ぶと、HDMI レコーダーの種類に応じて、操作に有効なボタンが追加されます。

外部機器を接続する

外部AV機器を接続する

■使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたりできます。

入力表示の設定

- 1 **[メニュー]** を押し **▲▼** で「機器設定」を選び **(決定)** を押します。
- 2 **▲▼** で「表示の設定」を選び **(決定)** を押します。
- 3 **▲▼** で「入力表示」を選び **(決定)** を押します。

表示の設定	
字幕の設定	
入力表示	
タイトル表示	オン
時計表示	オフ

- 4 **▲▼** で「HDMI 1」「HDMI 2」「ビデオ」から表示を変更する外部入力を選び **(決定)** を押します。

入力表示	
HDMI 1	HDMI 1
HDMI 2	HDMI 2
ビデオ	ビデオ

- 5 **▲▼** で表示したい名称または「使用しない（スキップ）」を選び **(決定)** を押します。

HDMI 1
使用しない（スキップ）
ブルーレイ
DVD
レコーダー
ゲーム
CATV
チューナー
表示なし

以下の項目が選べます。

- HDMI 1 / HDMI 2 / ビデオ (変更なし)
- 使用しない(スキップ)
- ブルーレイ
- DVD
- レコーダー
- ゲーム
- CATV
- チューナー
- 表示なし

※変更後 **[入力切換]** を押したときの表示

入力切換	
テレビ	
HDMI 1	
HDMI 2 [ブルーレイ]	
ビデオ	

■音声を本機のスピーカーで再生するか、接続したHDMI 機器で再生するかを設定します。

HDMI スピーカー選択設定

- 1 **[メニュー]** を押し **▲▼** で「HDMI 機器設定」を選び **(決定)** を押します。
- 2 「HDMI 機器選択」で HDMI 機器を選び、**(決定)** を押します。

HDMI 機器設定	
HDMI 機器選択	HDMI
スピーカー選択	TV

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切換	
データ放送表示切	

- 3 「スピーカー選択」で「TV」か「外部」を選び **(決定)** を押します。

※本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 1 入力端子（ARC 対応）をお使いください。その際には ARC 対応 HDMI ケーブルをお使いください。

外部機器を接続する

外部AV機器を接続する

■AVアンプなどの光デジタル音声入力を本機の光デジタル音声出力端子に接続することで、高音質な音声を楽しむことができます。

オーディオ機器を接続する

■ミニコンポなどにつなぐとき

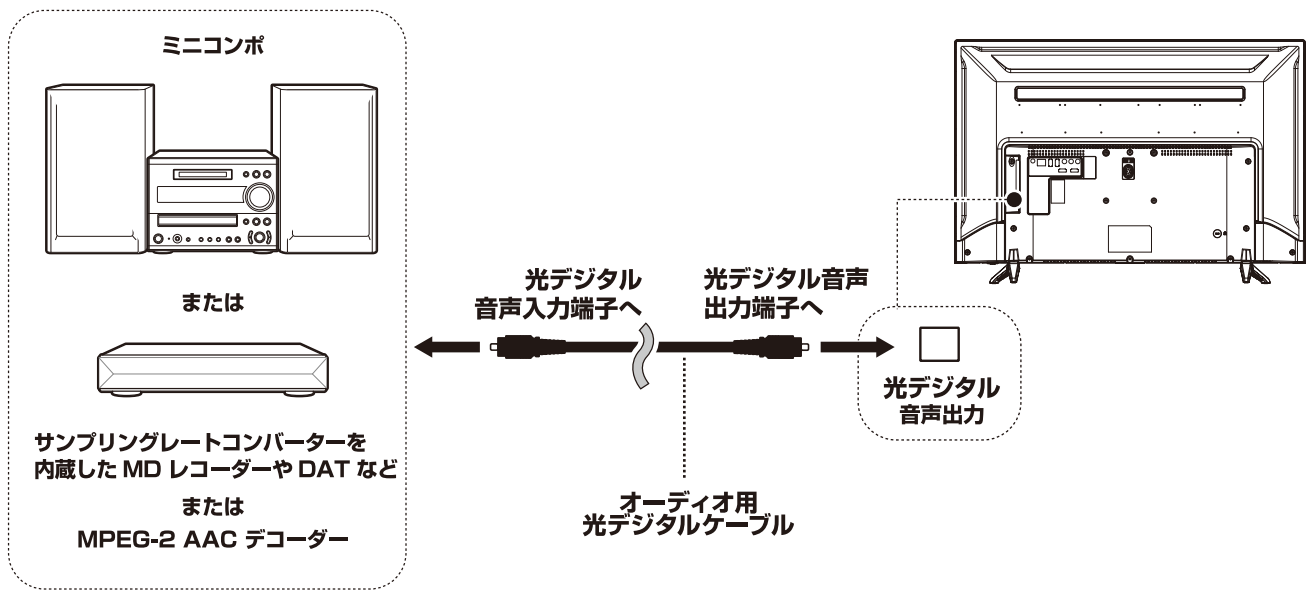
本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、P.35の「デジタル音声出力の設定」をします。

■MDレコーダーや DATにつなぐとき

サンプリングレートコンバーターを内蔵したMDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。P.35の「デジタル音声出力の設定」で「PCM」を選びます。

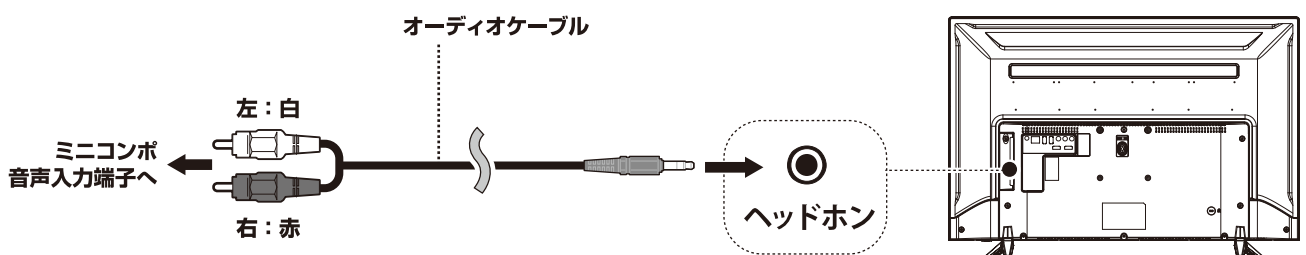
■MPEG-2 AACデコーダーにつなぐとき

デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダーで楽しむことができます。P.35の「デジタル音声出力の設定」で「自動」または、「ビットストリーム」を選びます。
※端子の位置はP.11をご覧ください。



※光デジタルケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の形状に合ったケーブルをご用意ください。

ミニコンポ等にはオーディオケーブル(アナログ)でも接続できます。



外部機器を接続する

外部AV機器を接続する

■光デジタル音声出力端子やHDMI 1入力端子から出力する音声信号を設定します。

デジタル音声出力の設定

- 1 **メニュー** を押し **▲▼** で「音声設定」を選び **決定** を押します。「音声設定」画面が表示されます。
- 2 **▲▼** で「デジタル音声出力」を選び **決定** を押します。
- 3 **▲▼** で信号を選び **決定** を押します。

音声調整	標準
低音	0
高音	0
イコライザー	
バランス	0
サラウンド	オフ
ヘッドホン音量	25
音量自動調整	オフ
入力音量補正	自動
デジタル音声出力	PCM
	ビットストリーム

音声調整	標準
低音	0
高音	0
イコライザー	
バランス	0
サラウンド	オフ
ヘッドホン音量	25
音量自動調整	オフ
入力音量補正	0
デジタル音声出力	自動

自動：サラウンド音声とリニア PCM の信号が自動で識別されます。

PCM：リニア PCM 信号が出力されます。

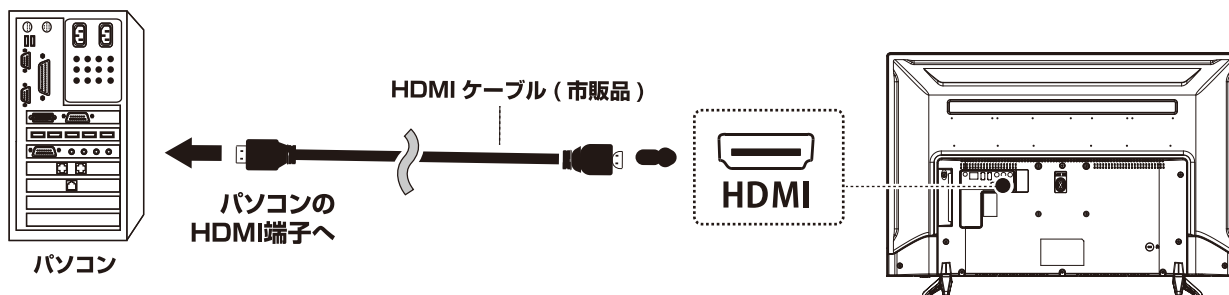
ビットストリーム：デジタル信号がそのまま伝達され、高音質な音声が出力されます。

※お買い上げ時は「自動」に設定されています。

MPEG-2 AAC デコーダーやAAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは「自動」または「ビットストリーム」に設定します。

■HDMI 端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶ディスプレイをパソコンのモニターとして使うことができます。

パソコンを接続する



※HDMI 端子の位置は P.11 をご覧ください。

※接続するパソコンの取扱説明書をご覧のうえ、対応出力フォーマットなど仕様をご確認ください。

※接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

※パソコンを接続する前に、パソコンの取扱説明書を確認し、テレビで表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください。

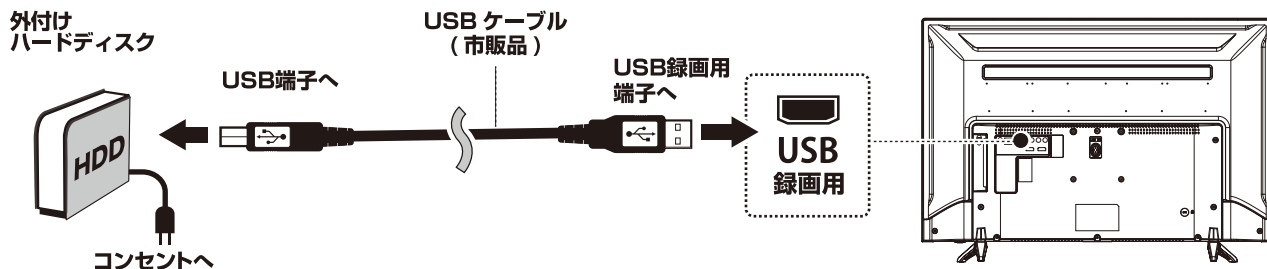
外部機器を接続する

録画用ハードディスク(市販品)を接続する

■本機にUSBハードディスク(市販品)を接続することで録画や再生ができます。

USBハードディスクの接続

本機背面のUSB録画用端子に接続します。



※USB端子の位置はP.11をご覧ください。

- ※本機に接続できるUSBハードディスクの最大容量は4TBです。
- ※本機には8台までのUSBハードディスクを登録でき、そのうちの2台のUSBハードディスクを接続しておくことができます。
- ※本機にはUSBハブはご使用になれません。
- ※パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、保存していたデータはすべて消去されます。
- ※USBハードディスクの動作中は、本機とUSBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- ※ポータブルタイプのUSBハードディスクは正常に動作しない場合があります。必ずACアダプターで駆動するタイプのハードディスクをお使いください。
- ※USBハードディスク及びテレビ本体の電源をオフにしてから取り外してください。

動作確認済み外付けUSBハードディスク一覧

動作確認済み外付けUSBハードディスクは以下のとおりです。

発売元	製品シリーズ名
エレコム社製	ELD-ERTUBK シリーズ、SGD-NXU シリーズ、ELD-QENUBK シリーズ、SGD-MX シリーズ (4TB まで)
BUFFALO 社製	HD-NRLC シリーズ、HD-LCU3-F シリーズ、HD-LDU3-A シリーズ
I-O DATA 社製	HDL-CE シリーズ、HDCZ-UT シリーズ

※上記機器との動作を保証するものではありません。

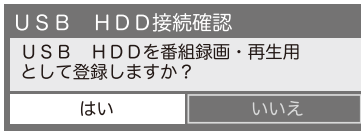
外部機器を接続する

録画用ハードディスク(市販品)を接続する

■USBハードディスクを登録する

初めて接続するUSBハードディスクを初期化(フォーマット)する。

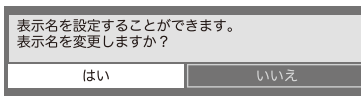
- 1 USBハードディスク確認画面で ◀▶ を使い「はい」を選び (決定) を押します。



- 2 このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で ◀▶ で「はい」を選び (決定) を押します。
- 3 初期化の確認画面で ◀▶ で「はい」を選び (決定) を押します。
初期化と登録が始まります。

※初期化を行うと、USBハードディスクに保存されていた内容は、すべて消去されます。
※正常に動作しないハードディスクも初期化をすることにより、使用可能になる場合もあります。

- 4 表示名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選び、(決定) を押します。



- 5 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合、◀▶で「はい」を選び (決定) を押します。

※録画中および録画予約が設定されているときは、本機やUSBハードディスクの電源プラグやUSBケーブルを抜かないでください。
※本機で初期化して登録したUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

外部機器を接続する

録画用ハードディスク(市販品)を接続する

■登録したUSBハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。

USBハードディスクの設定をする

1 「メニュー」を押して、「機器設定」→「USB機器管理」と選びます。



※USB機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認できます。

2 設定するUSB機器を▲▼で選び、以降の手順で設定します。



■取り外すとき

青 (取り外し) を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこのボタンを押します。

※本機に接続したUSBハードディスクは、必ずこの操作により安全に取り外してください。

安全に取り外しを行わなかった場合、次回接続したときに機器の認識に時間がかかったり、本機の動作が不安定になったりする可能性があります。

■機器の詳細を確認するとき

赤 (機器詳細) を押すと、登録した機器のメーカー名や容量などが表示されます。

■登録を削除するとき

黄 (登録削除) を押し、◀▶で「はい」を選び、決定を押します。

■表示名を変更するとき

緑 (表示名変更) を押し、文字入力画面で入力します。**赤** (終了) を押すと元の画面に戻ります。文字入力画面について詳しくはP.29をご覧ください。

ハードディスクに録画する

録画機能について

■USB ハードディスクに録画できる番組

本機に接続した USB ハードディスクに録画できるのは、地上デジタル放送番組と、BS/110 度 CS デジタル放送番組です。外部入力からの映像、音声については録画できません。

※録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。

■USB ハードディスクの接続・設定と録画前の準備

接続・設定

本機に USB ハードディスクを接続しておきます (P.36)。

録画前の準備

USB ハードディスクの残量を確認します。

残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除しておきます (P.43)。

※本機に登録していない USB ハードディスクでは録画できません。

※録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、上記ページを参照し、接続・設定を確認してください。

※2 台同時に USB ハードディスクに録画することはできません。

※本機で動作確認済みの USB ハードディスクについては、P.38 を参照してください。

■録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	P.40
番組表から録画予約する	P.40
録画する日時を指定して録画予約する	P.41

※USB ハードディスクの最大予約件数は 64 件です。また、最大総番組数は 3000 件です。

※録画中に、本機や USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり (停電なども含む)、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

※録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

※万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

■録画・予約の種類

リモコンの **残量** を押すと接続している USB ハードディスクの残量を確認できます。

※録画可能時間は表示される時間よりも少なくなることがあります。



※USB ハードディスクの残量時間表示は、BS デジタル放送の HD 放送 (24Mbps) を基準に算出しています。

録画可能時間表示はあくまでも目安としてご確認ください。

ハードディスクに録画する




■現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

視聴中の番組を録画する

- 1  を押します。
見ている番組の録画が始まります。
- 2  を押すと録画が終了します。


■現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

番組表から録画予約する

- 1  を押します。
- 2 ▲▼◀▶ で録画したい番組を選び  を押します。
- 3 番組説明を確認して、◀▶ で「録画予約」を選び  を押します。





視聴予約 指定した番組の視聴予約
録画予約 指定した番組の録画予約

- 4 「録画予約設定」画面で「予約する」を選び  を押します。



「予約する」「毎週予約する」「自動録画する」「詳細設定」から選びます。

- 5 「予約が完了しました。」が表示されたら  を押します。
※番組表に録画予約済みの赤い  アイコンが表示されます。

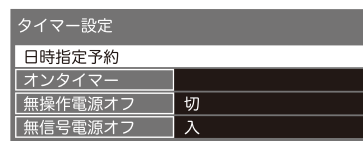
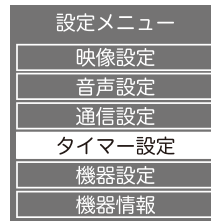
※番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
※複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
※予約の確認や取消しについては、P.42 をご覧ください。

ハードディスクに録画する

録画する日時を指定して録画予約する

- 1 **[メニュー]** を押します。
設定メニューが表示されます。
- 2 **▲▼** で「タイマー設定」を選び **(決定)** を押します。
- 3 **▲▼** で「日時指定予約」を選び **(決定)** を押します。
「時間指定予約」画面が表示されます。
- 4 録画予約の日時やチャンネルを設定します。
 - 1) 設定する項目を **◀▶** で選び **▲▼** で日時を設定します。
※6週間先まで指定できます。
※設定できる時間は最大12時間です。
 - 2) 設定が終わったら **(決定)** を押します。
- 5 **▲▼** で「予約する」を選び **(決定)** を押します。
- 6 「予約が完了しました」が表示されたら **(決定)** を押します。

※予約の確認や取消しについては、P.42をご覧ください。



録画設定を変更する

■「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

- 1 **(番組表)** を押します。
- 2 **▲▼◀▶** で録画予約した番組を選び **(決定)** を押します。
- 3 **◀▶** で「設定変更」を選び **(決定)** を押します。
「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。
- 4 **▲▼** で「詳細設定」を選び **(決定)** を押します。
- 5 以下の項目から変更したい項目を選んで変更します。

予約方式 「見るだけ」「録画」を **◀▶** で選びます

録画機器 複数のUSBハードディスクを接続しているときに、録画先を選びます

その他の設定 「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます
プロテクトされた録画番組は録画一覧に **🔒** が表示されます

時間指定予約 録画終了時間を設定できます

番組を録画／再生する

ハードディスクに録画する




- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。
ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

録画を中止する

視聴している番組を録画中のとき

 を押しと、録画が停止します。

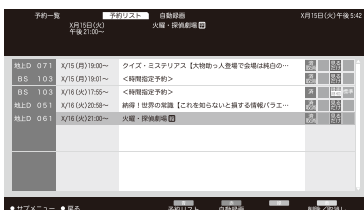
録画予約で録画中のとき

- 1  を押しと、録画の中止を確認するメッセージが表示されます。
- 2  で「はい」を選び  を押しと、録画が停止します。

- 録画予約した内容の確認、取り消しができます。

予約の確認・取消しをする

- 1  を押しとサブメニューが表示されます。
- 2  で「予約一覧」を選び  を押しと予約リストが表示されます。



- 3  で予約を確認する番組を選び  を押しと。
- 4 予約を取り消すときは、 で「予約削除」を選び  を押しと。

予約リストサブメニュー

予約リストが表示されているときに  を押しと、予約リストサブメニューが表示され以下の項目が選択できます。



- 視聴制限一時解除
- 全履歴削除

録画予約に関するお知らせ




録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が最優先され、他の録画や視聴予約は中止、または取り消しとなります。

録画予約	優先1位		
●○からの録画	×	優先2位	
録画	×	×	優先3位
視聴予約	×	×	優先3位

ハードディスクに録画する




■録画した番組を誤って削除しないように保護できます。

録画した番組を保護する




- 1  を押します。
- 2 ▲▼ で保護する番組を選び  を押して ▲▼ で「プロテクト設定変更」を選び  を押します。
※選んだ番組が保護されます (🔒がつかます)。
※同じ操作でプロテクトを解除できます。

※録画中はこの操作はできません。

録画した番組を削除する

- 1  を押します。
- 2 ▲▼ で削除する番組を選び  (消去) を押します。
- 3 確認画面で ◀▶ で「はい」を選び  を押します。

■複数選択して削除する場合

- 1 録画一覧の画面で  (複数選択) を押します。
選んだ番組のチェックボックスにチェックが入ります。
- 2  (消去) を押し ◀▶ で「はい」を選んで  を押します。

※録画中はこの操作はできません。

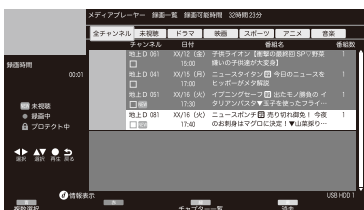
番組を録画／再生する

録画した番組を再生する

■USBハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作

- 1 を押します。
録画一覧が表示されます。



録画一覧には、番組の簡単な情報や、USBハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。

- 録画一覧には以下のアイコンが表示されます。

: 未視聴

: 録画中

: プロテクト中

- (チャプター一覧) を押すと選んだ番組のチャプター一覧が表示されます。

- 2 で見たい番組を選び を押します。
どこから再生するかの確認画面が表示されたら で「続きから再生」「最初から再生」を選び を押します。

※選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります)

※番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画一覧に戻ります。

※再生中にできるリモコン操作については P.45 を参照してください。

- 3 再生を停止させるには を押します。
録画一覧の画面に戻ります。

※録画番組の再生を終了するときは を押すか、または選局の操作などをします。

※電源を入れた直後は USB ハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画一覧が開かない場合があります。

その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。

※本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ(同じ形式のテレビも含む)では再生できません。

※USBハードディスクに録画した番組を再生中に、本機やUSBハードディスクの電源プラグを抜いたり(停電なども含む)、USBケーブルを抜き差ししたりすると、本機やUSBハードディスクの故障の原因になります。

USBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

録画中の番組を再生する

録画中の番組を選び を押すと、録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

※録画開始直後の番組は、録画一覧に表示されるまで少し時間がかかります。












録画番組の情報や番組説明を見る

再生中に を押すと再生中の番組の情報が表示されます。

表示を消すには、 もう一度を押します。

録画した番組を再生する

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	動作	ボタン	動作
	録画番組の再生を開始します		再生中に押すと、30 秒ほど先に進んで再生します
	再生中に押すと一時停止になります ※一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます		再生中に押すと 10 秒ほど戻って再生します
	再生を停止し、録画一覧に戻ります		前のチャプターまでスキップします
	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)		次のチャプターまでスキップします
	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)		USB ハードディスクの録画可能な残量を確認できます
			再生中に押すと、録画一覧が表示されます

P45

録画一覧サブメニュー

録画一覧を表示中に  を押すと、録画一覧サブメニューが表示され以下の項目が選択できます。



- USB ハードディスク 選択
- 視聴制限一時解除
- プロテクト設定変更
- 番組名編集

録画した番組を保護もしくは削除する

P.43 をご覧ください。

サブメニュー画面について

■設定画面まで移動しなくても、簡単な設定ができたり、表示している画面に応じたサブメニューで便利な操作を行うことができます。

サブメニュー画面からの設定

メニュー設定表示がないときに **戻る** を押すと、サブメニュー画面が表示されます。

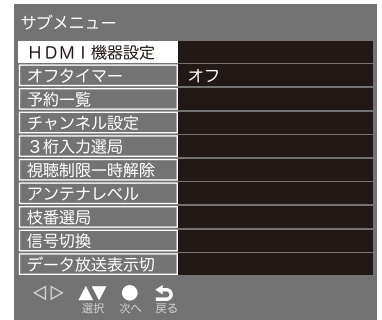
HDMI 機器設定：HDMI の各機器やスピーカーを選択します (P.33)

オフタイマー：自動で電源を切るよう設定できます (P.28)

予約一覧：視聴予約、録画予約の一覧リストを表示します (P.42)

チャンネル設定：受信できるチャンネルを設定します (P.55)

3 桁入力選局：数字ボタンで 3 桁を入力して選局します (P.19)



視聴制限一時解除：視聴制限を一時的に解除します。

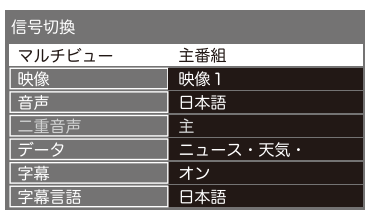
アンテナレベル：現在視聴中の放送局の受信レベルを確認できます。



枝番選局：現在視聴中の放送局の枝番選局ができます。



信号切換：現在視聴中の番組の映像や音声を切り換えます。



データ放送表示切：この項目が表示されている場合は、データ放送の表示を中止できます。

※メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。

※ **戻る** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

その他のサブメニュー

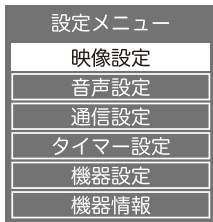
番組表サブメニュー：P.20 をご覧ください

予約リストサブメニュー：P.42 をご覧ください

録画一覧サブメニュー：P.45 をご覧ください

設定メニュー画面について

設定メニュー画面を開く



メニュー を押すと、設定メニュー画面が表示されます。

※メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。

※ **戻る** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

設定メニュー一覧

分類	設定内容	設定項目／掲載ページ	分類	設定内容	設定項目／掲載ページ
映像設定	お好みに合わせて映像を設定したり画質を調整したりできます	画質動作選択／ P.48	タイマー設定	日時を指定した録画予約や自動で電源を入れたり切ったりする設定をします	日時指定予約／ P.41
		バックライト／ P.48			オンタイマー／ P.27
		コントラスト／ P.48	通信設定	外部機器の設定や本機のシステム設定などをします	無操作電源オフ／ P.28
黒レベル調整／ P.48	無信号電源オフ／ P.28				
色の濃淡／ P.48	USB 機器管理／ P.52				
色あい／ P.48	録画設定／ P.52				
輪郭強調／ P.48	視聴制限設定／ P.52				
色温度／ P.48	表示の設定／ P.54				
動的コントラスト／ P.48	HDMI 設定／ P.32				
ノイズ低減／ P.48	かんたん設定／ P.15				
MPEG ノイズ低減／ P.48	設置設定／ P.55				
高度な設定／ P.49	システム設定／ P.56				
詳細調整／ P.49	その他の設定／ P.57				
シネマ設定／ P.49	機器情報	本機の ID 情報を表示します	ID 表示／ P.57		
画面の設定／ P.49					
調整の初期化／ P.49	音声設定	お好みに合わせて音声を設定したり音質を調整したりできます	双方向サービスを利用するために必要なインターネットへの接続を設定します	ネットワーク接続／ P.17	
音声調整／ P.50				ネットワーク状態／ P.18	
低音／ P.50					
高音／ P.50					
イコライザー／ P.50					
バランス／ P.50					
サラウンド／ P.50					
ヘッドホン音量／ P.51					
音量自動調整／ P.51					
入力音量補正／ P.51					
デジタル音声出力／ P.51					
音声同時出力／ P.51					
調整の初期化／ P.51					

映像設定メニューについて

映像設定メニューを開く

映像設定	
画質動作選択	標準
画面の明るさ	100
周囲の明るさ	90
暗部調整	50
色の濃淡	50
色合い	0
輪郭強調	50
色温度	中
動的コントラスト	オン
ノイズ低減	自動

[メニュー] を押し設定メニュー画面の「映像設定」を選んで [決定] を押します。現在選択されている入力モード (テレビ、ビデオ、HDMI) の映像を、お好みの画質に調整できます。

※項目によっては選択できないものがあります。

■あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

画質動作選択

自動
鮮やか
標準
居間
映画
映画プロ
おこのみ

自動.....受信信号に合わせて画質を自動で調整します
鮮やか.....日中の明るい場所で見るときに適した設定です
標準.....落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です
居間.....明るいいリビングで見るときに適した設定です
映画.....映画を見るときに適した設定です
映画プロ.....暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です
おこのみ.....映像をお好みの画質に調整します

画質の調整

お好みに合わせて画質を調整することができます。

バックライト.....バックライトの明るさを調整します

コントラスト.....設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます

黒レベル調整.....設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります

色の濃淡.....設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります

色あい.....設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります

輪郭強調.....設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます

色温度.....「高/中/低」で正確な色を再現できるよう調整します。高は寒色系に、低は暖色系になります

動的コントラスト.....暗い画面で光量を小さくする調整をします。「オン/オフ」から選びます

ノイズ低減.....映像の乱れを少なくします。「自動/強/中/弱/オフ」から調整します

MPEG ノイズ低減.....DVD やハードディスクレコーダーの長時間録画モードの映像などに出やすいノイズを軽減します
「強/中/弱/オフ」から調整します

映像設定メニューについて

高度な映像調整

画質動作選択上で『おこのみ』を選択し (P.48)、高度な設定「入」を選ぶと、以下の詳細調整ができます。

詳細調整

詳細調整	
黒伸長	8
ホワイトバランス	
ガンマ設定	
調整の初期化	

黒伸長.....ばらつきの多い黒レベルを一定に揃えます。

0 から15 の間で調整します。

ホワイトバランス.....RGB それぞれのゲインとそれぞれのカットオフを-50 から

+50 の間で微調整します。

ホワイトバランス	
Rゲイン	0
Gゲイン	0
Bゲイン	0
Rカットオフ	0
Gカットオフ	0
Bカットオフ	0
調整の初期化	

ガンマ設定.....映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを1.8 から2.6

までの5 段階から調整します。

※画質動作選択によっては、高度な設定、詳細調整、シネマ設定は行えない場合があります。

シネマ設定

よりリアルに映画を楽しめるシネマリアリティの「オン/オフ」を設定します。

画面の設定

画面のサイズや位置などを調整します。

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4:3 映像設定	ジャスト

画面サイズ切替.....番組に適した画面サイズを選びます (P.24)。

オーバースキャン.....映像の周辺部が映らないようカットする機能です。

両横ノイズカット.....画面両横に見られる映像ノイズを調整します。

垂直位置/大きさ.....画面の表示位置や大きさを調整します (P.24)。

4:3 映像設定.....4:3 映像の画面を「ノーマル/ジャスト」から選んで設定します。

調整の初期化

映像調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

音声設定メニューについて

音声設定メニュー画面を開く



[X] を押し設定メニュー画面の「音声設定」を選んで [決定] を押します。

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の音声を、お好みの音質に調整できます。

音声調整

あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。
お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



標準.....ほとんどのシーンに合う一般的な設定です

音楽.....音楽シーンに適した設定です

会話.....人の音声が聞き取りやすくなる設定です

おこのみ.....音声をお好みの音質に調整します

音質の調整

お好みに合わせて音質を調整できます。

低音.....設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します

高音.....設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します

イコライザー.....特定の周波数域を増幅、減衰することにより音質を調整します

「音声調整」を「おこのみ」に設定したときにだけ有効になります

バランス.....左右の音声出力のバランスを調整します

設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します

サラウンド.....ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です

「オン」「オフ」で切り換えます

音声設定メニューについて

■ 音量調整

ヘッドホンを取付ける

ヘッドホン音量や入力音量の補正を設定します。

ヘッドホン音量.....ヘッドホンで聞くときの音量を0 から100 の間で設定します。出荷時は25 に設定されています

ヘッドホン音量  25

音量自動調整.....「オン/オフ」から設定します

入力音量補正.....音量を- 6 から+6 の間で調整します

※鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

■ デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子や HDMI 1 入力端子から出力する音声信号を設定します。
詳しくは P.35 をご覧ください。

■ 音声同時出力

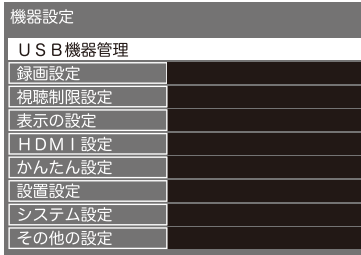
音声を外部機器とテレビから同時に出力するかを設定します。

■ 調整の初期化

音声調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

機器設定メニューについて

機器設定メニューを開く



[メニュー] を押し設定メニュー画面の「機器設定」を選んで [決定] を押します。
機器設定メニューでは外部機器の設定や初期設定、システム設定などができます。

USB 機器管理

USB 機器一覧を表示し、取り外しや登録の削除などができます。詳しくは P.38 をご覧ください。



録画設定

録画をするときの設定をします。



- 自動予約**.....録画予約した番組の次回の録画を自動で予約するかどうかを「オン/オフ」で設定します
- 録画ボタン設定**.....録画ボタンを押して録画したときの録画終了時間を「番組終了 / 3 時間録画」から設定します
- オートチャプター**.....録画一覧の画面で表示するチャプターを自動で作成するかを「オン/オフ」で設定します
- USB HDD 待機**.....USB 機器を待機状態にするかどうかを「オン/オフ」で設定します

視聴制限設定

視聴制限の設定をします。



機器設定メニューについて

視聴年齢の制限を設定する

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号を設定した状態で、以下の設定をする必要があります。

- 1 「視聴制限設定」画面で「視聴制限設定」を選び **決定** を押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 2 **1** ~ **10** で暗証番号を入力します。



- 3 **◀▶** 年齢を設定し **決定** を押します。
※設定できる年齢は、4才から20才までです。



暗証番号を設定・変更する

視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

- 1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号設定」を選び **決定** を押します。暗証番号を変更する場合は、すでに設定されている暗証番号を入力します。
- 2 **1** ~ **10** で新しく設定する暗証番号を入力します。



- 3 確認のため、新しく設定する暗証番号をもう一度入力します。
- 4 **決定** を押すと暗証番号が設定されます。

暗証番号を削除する

- 1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号削除」を選び **決定** を押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 2 **1** ~ **10** で現在設定されている暗証番号を入力すると、確認画面が表示されます。
- 3 **◀▶** で「はい」を選び **決定** を押します。暗証番号が削除されます。

機器設定メニューについて

表示の設定

表示の設定	
字幕の設定	
入力表示	
タイトル表示	
時計表示	

■字幕の設定をする

字幕の日本語／英語表示を切り換えます。

- 1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び **(決定)** を押します。

字幕の設定	
字幕	オフ
字幕言語	日本語
文字スーパー	オフ
文字スーパー言語	日本語

「字幕の設定」画面が表示されます。

- 2 ▲▼ で「字幕」を選び、「オン／オフ」を選び **(決定)** を押します。

※リモコンの **[字幕]** を押しても字幕の「オン／オフ」を選択できます。

- 3 ▲▼ で「字幕言語」を選び、「日本語／英語」を選び **(決定)** を押します。

■文字スーパーの設定をする

- 1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び **(決定)** を押します。
- 2 ▲▼ で「文字スーパー」を選び、「オン／オフ」を選び **(決定)** を押します。
- 3 ▲▼ で「文字スーパー言語」を選び、「日本語／英語」を選び **(決定)** を押します。

■その他の表示の設定

入力表示.....入力切換をするときに表示される外部入力機器を設定します。詳しくはP.33をご覧ください。

タイトル表示..... **[画面表示]** を押したときに番組タイトルを表示するか「オン／オフ」で設定します。

時計表示.....画面左下に時計を表示するかを設定します。

HDMI 設定

HDMI 機器を接続したときの動作を設定します。詳しくは P.32 をご覧ください。

機器設定メニューについて

かんたん設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「かんたん設置設定」を行ってください。
詳しくは P.15 をご覧ください。

設置設定

本機を設置するときに設定します。

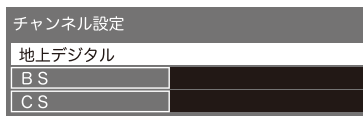


受信対象設定

BS と CS を「使う／使わない」から選びます。



チャンネル設定



地上デジタル／BS／CS.....引越しした場合などこのメニューからチャンネルを設定します。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。

購入後初めて設定する場合や違う地域に引っ越した場合は、「初期スキャン」を選びます。現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。「再スキャン」を選ぶと、スキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。手動で設定するときは「マニュアル」を選びます。

チャンネル設定修正..... [1] ~ [12] に、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。



※「BS」を選んだときの画面

- ▲▼ で変更したいリモコンの数字を選び (決定) を押します。
- 必要に応じて、(緑) (入換) を押して変更します。
- (戻る) (終了) を押します。

機器設定メニューについて

■地域設定

お住まいの地域と郵便番号を設定しておくことにより、データ放送で、地域の情報を得ることができます。

地域設定	
県域設定	東京都
郵便番号	xxx-xxxx

■県域設定

▲▼で県域を選び (決定) を押します。

■郵便番号

[1] ~ [10] で郵便番号を入力します。「0」は [10] で入力します。

■受信設定

「地上」で地上デジタル受信設定を、「衛星」で衛星受信設定を行います。

■高速起動

電源を入れたときの起動を高速にするかを「入/切」で選びます。

■B-CAS テスト

本機にセットされている miniB-CAS カードの状態をテストします。

正常な場合は「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。」と表示されます。

B-CASカードテスト
テストが正しく終了しました。 デジタル放送やデータ放送を利用することができます。

システム設定

B-CAS 情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認したりできます。

■設定情報リセット

本機の廃棄を目的に、全ての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、USB ハードディスクに録画した番組は見ることができなくなります。ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

- 1 ▲▼で「システム設定」を選び (決定) を押します。
- 2 ▲▼で「設定情報リセット」を選び (決定) を押します。

システム設定	
設定情報リセット	
放送メール	
B-CAS情報	
CSボード	
ライセンス情報	
ルート証明書	

- 3 ◀▶で「はい」を選び (決定) を押します。

※初期化を行うと、初期化前の状態に復元することはできません。

機器設定メニューについて

■放送メール

放送局から受信したお知らせなどを一覧で表示します。詳しくは P.26 をご覧ください。

■B-CAS 情報

B-CAS カードの識別番号などを表示します。

B-CASカード	
カード識別	XXXX
カードID	XXXX,XXXX,XXXX,XXXX,XXXX
グループID	

■CS ボード

110 度 CS デジタル放送局から送られてくる情報や案内が表示されます。

CSボード	
CS1 ボード	
CS2 ボード	

■ライセンス情報

本機のライセンス情報を表示します。

■ルート証明書

ルート証明書を表示します。ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

その他の設定

文字入力設定などその他の設定です。

■文字入力設定

その他の設定	
文字入力設定	
選局対象	全チャンネル

■入力方法

リモコンのボタンで入力するか画面に表示されるキーボードで入力するかを選びます。

■変換方式

通常方式か予測方式かを選びます。

■選局対象

選局対象を「設定チャンネル」「テレビのみ」「全チャンネル」から選びます。

設定チャンネル.....チャンネル設定で設定したチャンネルです

テレビのみ.....独立データ放送を除くテレビ放送のみです

全チャンネル.....放送されているすべてのチャンネルです

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑に点灯したままの点や、点灯しない黒い点がある
→液晶画面は非常に精密な技術で作られています、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする
→部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
→本機は、電源がスタンバイ状態のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・電源コードが本機やコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none">・リモコンを本機のリモコン受光部に向けていますか？・お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。・乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してください。・乾電池の極性（+）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	<ul style="list-style-type: none">・オフタイマーを設定していませんか？ →オフタイマーの設定を確認してください。・操作しない状態や信号を受信しない状態が長く続いていませんか？ →タイマー設定の「無操作電源オフ」や「無信号電源オフ」の設定を確認してください。

映像

症状	原因や対処のしかた
テレビの映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">・アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ →アンテナケーブルの接続を確認してください。・明るさは正しく調整されていますか？ →「バックライト」や「コントラスト」を調整してください。
外部機器の映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">・外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none">・電源コードのプラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。・電源は入っていますか？ →電源を入れてください。・入力切替は合っていますか？ →リモコンまたは本体のマルチ操作ボタンの入力切替操作で、入力を切り換えてください。

故障かな?と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映りが悪い 映像や音声にノイズが混じる 映像や音声がなくなることがある 映像が静止することがある	<ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルが正しく接続されていますか? アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか? → アンテナを調整し直し、確実に固定してください。 アンテナケーブルの劣化が考えられます。販売店にご相談ください。 天候による電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、場合によってはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
色合いが悪い、色が薄い	<ul style="list-style-type: none"> 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか? → 「色の濃淡」や「色あい」を調整してください。
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> 明るさは正しく調整されていますか? → 「画面の明るさ」や「周囲の明るさ」を調整してください。

音声

症状	原因や対処のしかた
テレビや外部機器の音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっていませんか? 「消音」状態になっていませんか? ヘッドホンが接続されていませんか?

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか? → 挿入方向を確認して、カチッと音がするまで挿入してください。
BS/110度CS デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> 付属のminiB-CAS カードを挿入しましたか? → 他のテレビに付属のmini-B-CAS カードをお使いの場合は、BS/110度CS デジタル放送が受信できないことがあります。必ず本機に付属のminiB-CAS カードをお使いください。
110度CS デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> 110度CS デジタル放送に対応したアンテナやケーブルをお使いください。
引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 「設置設定」の「チャンネル設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

故障かな?と思ったら

録画

症状	原因や対処のしかた
USB ハードディスクが認識されない	<ul style="list-style-type: none">• 本機に対応したUSB ハードディスクですか? → 本機で動作確認済みの機器をお勧めいたします。動作確認済み機器については、P.36をご覧ください。• USB ハードディスクが正しく接続されていますか? → USB ハードディスクを正しく接続してください(P.36)。USB ハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。• USB ハードディスクが本機に登録されていますか? → USB ハードディスクを本機に登録してください (P.37)。
録画できない	<ul style="list-style-type: none">• USB ハードディスクの電源は入っていますか? → 電源オンが必要なUSB ハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。• USB ハードディスクの空き容量が不足していませんか? → 不要な番組を削除してください (P.43)。• 録画できない映像ではありませんか? → コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力からの映像・音声は録画できません。• 放送開始時刻が変更されていませんか? → 録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「システム設定」メニューの「放送メール」で確認できます。
録画した番組が再生できない	<ul style="list-style-type: none">• 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

■ 保証とアフターサービス

修理を依頼される前に P.58～P.60 の「故障かな?と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

■アフターサービスについて

保証書を必ずご確認ください

別途添付してあります保証書については、必ず「お買い上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買い上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みのうえ、製造番号と製品本体裏面のシリアル番号をお確かめいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証書を紛失された場合や保証書に「お買い上げ日」と「販売店名」の記入がない場合は保証の対象外となります。ご了承ください。

修理をご依頼される場合

本書の P.58～P.60 の「故障かな?と思ったら」に従って症状を確認いただき、

それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いて

お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。

○保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

○保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償にて修理させていただきます。

<修理を依頼されるときにご準備いただきたい内容>

- ・ご住所／ご氏名／お電話番号
- ・製品名／品番／お買い上げ日／お買い上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

個人情報の取扱いについて

- ・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- ・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を遵守させますので、ご了承ください。

本製品に関するお問い合わせおよび修理に関するお問い合わせ

ネクシオン サポートセンター

TEL.0570-022-336

<受付時間> 10:00～17:00（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）

<住所> 〒339-0072 埼玉県さいたま市岩槻区古ヶ場2-7-9 篠崎運輸 古ヶ場センター内

<E-mail> support@nexxion.jp

■本製品ならびに本書は、改善の為予告なく変更する場合がございます。

■本書の内容の一部、または全ての無断転載を禁じます。

■本製品の仕様、故障によって生じた直接、間接の損害につきましては当社はその責任を負わないものとします。

■本書に乱丁、落丁があった場合は、お取り換え致します。販売店、またはサポートセンターにご連絡ください。

■ 主な仕様

品名	32V型 BS/110度CS/地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ	
テレビチューナー	地上デジタル放送:2 BS・110度CSデジタル放送:2 CATVパススルー対応:○	
	電子番組表(EPG):○(7ch*6時間表示/8日分受信) ^{※1} データ放送対応:○	
受信機型サイズ	32V型	
画面寸法 ^{※2}	幅69.8cm 高さ39.2cm 対角80.0cm	
画素数	1366(水平)×768(垂直)	
輝度	230cd/m ²	
コントラスト比	3000:1	
応答速度	6.5ms	
アスペクト比	16:9	
視野角(標準値)	上下178度:左右178度	
音声実用最大出力	6W(3W+3W)	
データ放送	双方向データ放送(BML)対応	
HDD録画機能	裏番組録画対応、番組表から録画予約可能(最大録画予約件数64)、最大録画番組数3000、	
	外付けHDD対応(160GB~4TB)、日時指定予約機能、放送時間連動機能、	
	レジューム再生、追っかけ再生、頭出し再生、ワンタッチスキップ機能、HDD省エネ設定機能	
アンテナ端子	UHFアンテナ入力端子(地上デジタル放送)×1、BS/110度CSアンテナ入力端子×1	
入出力端子	AV入力端子(RCA)×1、HDMI入力端子(Ver1.4a準拠)×2、	
	LAN端子(データ放送用)×1、	
	デジタル音声出力端子×1、φ3.5mmステレオミニジャック×1	
USB端子	録画用USB端子×2(USB2.0)	
HDMI対応入力解像度	480i 480p 720/60p 1080/60i 1080/24p 1080/30p 1080/60p	
電源	AC100V(50/60Hz)	
定格消費電力	50W	
年間消費電力 ^{※3}	68kWh/年	
省エネ達成率	103%	
待機電力	0.3W	
動作環境	温度:0~40℃(結露なきこと)/相対湿度:20~80%(結露なきこと)	
本体寸法	約733(W)×178(D)×509(H)mm/スタンド取付時	
本体質量	約4.3kg	
壁掛け対応	可(VESA 100*100mm/M4*10mm)	
付属品	リモコン(1)、リモコン用単四形乾電池(2)、スタンド(2)、スタンド取付用ネジ(2)、	
	電源コード(1)、miniB-CASカード(1)、B-CASカードカバー(金具1/ネジ1)、	
	取扱説明書(1)、保証書(1)	
リモコン	型番:RM-3K4	電源:DC3V(単四形乾電池x2)
	質量:約95g(乾電池含まない)	操作距離:約8m(ただし直進)

※1 番組表情報をダウンロードするには多少時間がかかります。

※2 ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外形対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※3 年間消費電力量は、省エネ法に基づいた算定式で算出した、一年間に使用する電力量です。

※製品改善の為に予告なく外観、仕様を変更する場合がありますので、ご了承ください。

■CATV(ケーブルテレビ)でデジタル放送をご覧のお客様は、ご契約されているケーブルテレビ会社の伝送方式をご確認ください。各ケーブルテレビ会社によって、伝送方式が異なります。

■個人情報の取扱いについて

弊社ではお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

-
- 本取扱説明書に記載されている企業名、製品名等は各社の商標または登録商標です。
また、商標及び登録商標に関して特に注記のない場合でも、これを尊重します。
 - このテレビは日本国内専用です。海外では使用できません。
 - 製品仕様は予告なく変更されることがあります。



発売元：株式会社 Freedom
©2019 FREEDOM CO., LTD. All right reserved.